

中学校 国語 活用問題

【2026年度版】

問題について（生徒の皆さんへ）

- 1 問題は三十問あります。解答は、問題用紙に記入しましょう。
- 2 問題は、次のような視点から作られています。



話す・聞くこと

- 1 聞き手を意識して発表をする（学校紹介のスピーチをする）
- 2 効果的なインタビューをする（県大会出場について取材する）
- 3 立場を決めて討論する（読書に対する意見を述べる）
- 4 目的に応じて話し合う（リーフレットの構成を考える）
- 5 調べたことを発表する（関心のある阿波弁について報告する）
- 6 資料を作成して発表する（学校紹介のプレゼンテーションをする）
- 7 インタビューしたことを報告する（職業について取材する）
- 8 資料と関連付けて話し合う（卒業文集の写真を選ぶ）
- 9 司会の役割を考える（合唱コンクールへの取り組みを話し合う）
- 10 司会の役割を考える（あいさつへの取り組みを話し合う）
- 11 分かりやすく伝えるように工夫して話す（スピーチをする）
- 12 聞き取ったことを基に自分の考えをまとめる（インタビューをする）
- 13 案内文を書く（学習発表会の案内状を書く）
- 14 話し合いと関連付けて書く（職場体験のお礼状を書く）
- 15 自分の考えを論理的に書く（標語を批評する文章を書く）
- 16 情報を読み取り根拠を明確にして書く（意見文を書き直す）
- 17 書いた文章の表現を考える（枕草子をまねて書いた随筆を修正する）
- 18 根拠を明確にして書く（浮世絵の鑑賞文を書く）
- 19 資料を関連付けて自分の考えを書く（パンフレットを作る）
- 20 自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く（意見文を書く）
- 21 話し合いと関連付けて読む（宮澤賢治の詩を読む）
- 22 情報を整理して読む（ハンバーグの作り方を説明する）
- 23 複数の資料を関連付けて読む（うず潮について調べる）
- 24 文学的文章を読み比べる（「富嶽百景」を読む）
- 25 社会について考えをもつ（日本の農業について考える）
- 26 叙述を根拠に自分の考えをもつ（「吾輩は猫である」を読む）
- 27 文学作品に親しむ（「羅生門」を読む）
- 28 慣用句の用例を書く（慣用句を調べる）
- 29 古文を読み比べる（兼好法師の友人親について考える）
- 30 古文に親しむ（「徒然草」の作者の考えや古典用語からその時代を知る）

書くこと

NEW

読むこと

知識及び技能

発展

発展

- 27 文学作品に親しむ（「羅生門」を読む）
- 28 慣用句の用例を書く（慣用句を調べる）
- 29 古文を読み比べる（兼好法師の友人親について考える）
- 30 古文に親しむ（「徒然草」の作者の考えや古典用語からその時代を知る）

- 3 言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしてください。
- 4 解答を読んで自分で答え合わせをすることもできるよう問題を作成しています。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしてください。

岸さんたち生徒会のメンバーは、自分たちの出身小学校で、中学校の様子を紹介することになりました。次の資料は、「学校紹介のパンフレット」と「紹介文の内容についての話し合いの一部」です。それぞれを読んで、あとの問いに答えなさい。

A 中学校紹介のパンフレット

■生徒数

1年	66名	(男子 35名 女子 31名)
2年	72名	(男子 35名 女子 37名)
3年	73名	(男子 36名 女子 37名)
合計	211名	(男子 106名 女子 105名)

■生徒会活動

生徒会スローガン 「可能性は無限大」

○ 全校ボランティア活動

私たち生徒会では、全校ボランティア活動に取り組んでいます。全校生徒一人一人がボランティア活動を行う5グループに所属し、1年生～3年生の縦割り集団で、週に1度のボランティア活動を行っています。

○ あいさつ運動「さわやかなあいさつの声があふれる学校」

私たち生徒会が中心となって、あいさつ運動の活性化に取り組んでいます。各学級、専門委員会と協力し、毎朝、あいさつ運動を実施しています。さわやかなあいさつから、一日が始まるようにしたいと考えています。

■部活動

現在、運動部が10部、文化部が2部あります。それぞれの部活動が、互いによいところを見習い、競い合いながら活動に熱心に取り組んでいます。

剣道部 サッカー部 ソフトテニス部 (男子)
ソフトテニス部 (女子) バスケットボール部 (男子)
バスケットボール部 (女子) バドミントン部 (女子)
バレーボール部 (女子) 陸上部 野球部
吹奏楽部 美術部
平成〇〇年度 中学校総合体育大会県大会出場
剣道部 ソフトテニス部 (男女)

紹介文の内容についての話し合いの一部

岸 学校紹介では、全校ボランティア活動のことを話したいです。三学年が同時に週に一回、一年間継続して活動しているのは、我が校の特色です。

松本 そうですね。他校の友達に全校ボランティア活動のことを話したらうらやましがられます。先輩と後輩が部活動以外でも仲良くなって、交流の輪が広がるからです。これからもボランティア活動を続けていきたいです。

山本 ボランティア活動のことも知ってほしいけど、事前に小学六年生にとつたアンケートでは、部活動への期待や不安が書かれていたから、部活動について説明したいです。

今川 部活動とボランティア活動は、中学生になって初めて経験したので、両方紹介したいです。それから、部活動と学習の両立をするために、集中力の大切さについてアドバイスして、不安を少しでも取り除きたいです。

1 次の文は、岸さんが書いた、学校紹介の内容をまとめた「発表メモ」です。次の文の空欄に当てはまる言葉を書きなさい。

発表メモ

ア 生徒会の取り組みとしてとりあげるの二つあり、二つのもなかで、より特色ある活動は
イ この学校の部活動数は、運動部、文化部を合計して十二部
ウ 学習と部活動の両立についてのアドバイス

2 次の文章は、岸さんが中学校の様子を紹介するために書いた「スピーチ原稿」です。書いたあとに見直すと、発表メモと異なることに気づきました。そこで、「スピーチ原稿」の A ・ B の部分に文章を付け足すことにしました。

スピーチ原稿

皆さんこんにちは。私は中学校生徒会役員の岸です。今日は、私たちの中学校を紹介したいと思います。

我が校の生徒数は211名、男子106名、女子105名です。生徒会では、いろんな活動を行っています。

A

放課後は、全員、部活動を行います。

部活動には、剣道部、サッカー部、ソフトテニス部（男子）、ソフトテニス部（女子）、バスケットボール部（男子）、バスケットボール部（女子）、バドミントン部（女子）、バレーボール部（女子）、陸上部、野球部、吹奏楽部、美術部があります。

どの部も一生懸命練習を積み重ねています。今年は、女子ソフトテニス部と剣道部が県大会に出場しました。

中学校では、授業の内容も専門的になり難しくなります。

B

これで中学校の紹介を終わります。みなさんの入学をお待ちしています。一緒に充実した中学生活を送りましょう。



2 生徒会新聞で、県大会に出場することになった野球部を特集として取り上げることになり、役員の松山さんは野球部キャプテンの石田さんにインタビューをしました。次は、松山さんが用意した【メモ】と、それをもとに石田さんに行った【インタビュー】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【メモ】

- 県大会に出場する気持ち
- これまでにいちばん印象に残った試合
- キャプテンとしての苦勞
- 県大会での目標

【インタビュー】

松山さん 県大会出場、おめでとうございます。生徒会新聞でこのことを記事にしたいので、お話を聞かせてください。

まず、今の気持ちはどうですか。

石田さん すごくうれしいです。去年は、あと少しのところまで負けて県大会に出られなかったので、今年こそはと思っていましたから。

松山さん これまでの試合でいちばん印象に残っているのは、どの試合ですか。

①石田さん 地区大会の準決勝です。相手は、去年の県大会で準優勝した青葉中学校でした。一勝もしたことがない相手だったので、緊張しました。苦しい場面もありましたが、延長戦の末に勝つことができました。

松山さん よかったですね。キャプテンとして、どんな苦勞がありましたか。

②石田さん そうですね。特に苦勞というほどのものはないですが、やっぱりチームをまとめていく責任みたいなものは感じています。

松山さん 県大会の目標は何ですか。

石田さん まずは、初戦突破です。応援してください。

松山さん がんばってください。今日はありがとうございました。

1 松山さんがインタビューを振り返ってみると、用意した質問をすることはできたけれど、内容が深まっていないことに気付きました。内容を深めるために注意することとして、あてはまらないものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア 野球部のことについて下調べしてから、インタビューに臨む。

イ 聞きたい項目について、期待する答えが得られるまで質問を重ねる。

ウ 感想や相づちを交えて、相手の気持ちを引き出すようにする。

エ 相手の答えに関連させて、答えの中の言葉を用いて質問をする。



3 夕子さんたちは、「たくさんの本を読むのと、すぐれた本をくり返し読むのでは、どちらがよいか」というテーマについて、立場を決めて討論する学習に取り組んでいます。次は、「すぐれた本をくり返し読む方がよい」という立場で、夕子さんが述べた意見です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

◇「本はたくさん読むよりも、すぐれた本をくり返し読む方がよい」
(夕子さんの意見)

私の愛読書は、サンIIテグジュペリの「星の王子さま」です。この本は、出版から五十年以上経った今も世界中で愛読され、日本でも長い間ベストセラーになっている本です。私は、母に教えてもらい、今までに何度もくり返し読みました。落ち込んでいるときや悩んでいるときにこの本を開くと、元気をもらえます。このように、すぐれた本は、筆者が書いていることは一つなのに、その時の読み手の心に応じた答えを出してくれ、読むたびに新しい発見があります。だから、私はすぐれた本をくり返し読む方がいいと思います。



1 夕子さんの意見の述べ方を説明しているのは、次のどれですか。最も適切なものを、ア〜エから選びなさい。

- ア 聞き手に投げかけた疑問に答えるかたちで、意見を述べている。
- イ 客観性のある情報を示しそれを根拠として、意見を述べている。
- ウ 聞き手の反論を想定して説得するかたちで、意見を述べている。
- エ 身近な体験を通して考えたことを根拠として、意見を述べている。

2 夕子さんの意見の根拠をまとめました。「すぐれた本は、」に続くように、次の□に、その内容を書きなさい。

(夕子さんの意見の根拠)

すぐれた本は、

4 皆さんの学級では、小学校六年生に体験入学で配る学校紹介のリーフレット（一枚ものの印刷物）を作るために、表面のレイアウトについて出されたA案・B案・C案について、話し合いをしました。次の【表面のレイアウト】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【表面のレイアウト】 A案

校訓 誠実・前進

校章

学生会の
写真

校長先生
のあいさつ

生徒数 286人
1年3学級 87人
2年4学級 108人
3年4学級 91人

生徒会長
あいさつ

校舎の
案内図

校歌

今日の日程
・9:00～
・9:30～
・11:30～

B案

校訓 誠実・前進

校舎の写真

校長先生
のあいさつ

生徒会長
あいさつ

校歌

今日の日程
・九時～
・九時半～
・十一時半～

生徒数
二八六人
一年 三学級
二年 四学級
三年 四学級

校舎の
案内図

C案

校訓 誠実・前進

校章

校舎の
写真

校長先生
のあいさつ

生徒数 286人
1年3学級 87人
2年4学級 108人
3年4学級 91人

生徒会長
のあいさつ

今日の日程
・9:00～
・9:30～
・11:30～

校歌

校舎の
案内図

【話し合いの一部】

春子 Bは、新聞みたいですね。上から順に読んでいけばいいのだけど、これだと学校新聞とレイアウトがいつしよになりますね。

学 ほとんど、似ている。当日は学校新聞もいつしよに配るから、学校新聞との違いをはつきりさせるためにも、変えた方がいいのではないかな。

泉 賛成。それに、AやCの方が校舎の写真が大きくて、目を引くレイアウトになっていていいと思います。

広志 じゃあ、Bは除いて、AかCで決めるのでいいですか。

春子 リーフレットのタイトルも人目を引くのにしましょう。「いらっしやいませ、西中へ」とか、「輝け！ 我らが西中」とかはどうですか。

由美子さんの学級では、関心のある方言について調べ、発表する学習に取り組んでいます。次は由美子さんがまとめた【発表原稿】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【発表原稿】

私が選んだ言葉は、阿波弁の「えつとぶり」です。

みなさんは「えつとぶり」という言葉を知っていますか。

お年寄りが話しているときに「えつとぶりやなあ」などと言っているのを耳にしたことがあるのではないでしょうか。この言葉は、「えつとぶりにおうたけど、げんきにしよつたで。」とか、「えつとぶりやなあ。どないしよんえ。」というように使います。祖母の家に行ったときに言われると、「帰ってきたんだ」と実感できる、私の大好きな言葉です。

では、「えつとぶり」とは、どのような意味でしょう。

(クラスメイトに答えてもらう)

そうです。「えつとぶり」とは「久しぶり」という意味です。

「長い間」という意味の「えつと」に、「ぶり」がついて「えつとぶり」。この「えつと」は、「やうやく」という言葉が次のような時代変化を経て、生まれたものだとされています。

やうやく(ようやく) ↓ やうやくと(ようやくと) ↓ やうやつと(ようやつと)

↓ やつと・えつと

実際にどのくらいの人がこの言葉を知っていて使っているかを調べるために、二年一組全員と職員室の先生方にアンケートをとりました。

この資料を見てください。二年一組の二十七人のうち、この言葉を知らないと答えたのは一人でしたが、実際に使うと答えたのは三人でした。先生方二十三人では、すべての人が知っていて、実際に使っているのは十八人でした。先生方では、若い人ほど使わないという答えが多かったです。

また、「えつとぶり」と「久しぶり」とのイメージの違いを尋ねると、「久しぶり」に比べて「古くさい」といったマイナスのものもありましたが、大部分は、「えつとぶり」の方が「ほつとする」「温かい」「やさしい」「ふるさとに帰ったという感じ」という肯定的な回答でした。これは、阿波弁全体のイメージとも重なると思います。テレビの映像などで、アンジェラ・アキさんが阿波弁を使っている姿を見て、親しみを感じた人も多かったのではないのでしょうか。

この調査から、「えつとぶり」という言葉を含む阿波弁については、プラスのイメージをもっているけれど、若い人ほど使わない傾向にあることが分かります。私は、このままでは使われなくなり、将来消滅してしまう阿波弁もあるのではないかなという危機感を持ちました。

この学習を通して、今まで何気なく使っていた阿波弁の良さが少し分かり、もっとよく知りたいと思うようになりました。郷土の言葉である阿波弁を未来へ残していくために、大切に使うていきたいと思えます。

1 由美子さんの発表について説明したものとして最も適切なものをア～エから選びなさい。

ア 客観性のある情報を根拠として、この言葉に興味をもった理由を説明している。

イ この言葉が生まれた背景を、投げかけた疑問に答えるかたちで説明している。

ウ 聞き手の興味や関心を引き出すために、呼びかけや質問を交えて説明している。

エ 言葉のイメージが聞き手に伝わるように、一つの特徴的な例を用いて説明している。

小学校六年生に中学校の様子を紹介することになり、たかしさんの班は「部活動」を取り上げることにしました。次は、たかしさんの班のプレゼンテーションのための【進行案】と、これを修正するための【班員の意見】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【進行案】

【資料】	【説明内容のメモ】	【時間】
1 部活動について	はじめに ・小学校との大きな違いの一つ ・6年生のみなさんが興味をもっている ・中学校生活充実のカギ	10秒
2 部活動の種類 運動部 陸上部・野球部・テニス部・サッカー部 バスケット部・バレー部・卓球部 文化部 吹奏楽部・合唱部・放送部・美術部	どのような部活動があるか ・運動部と文化部合わせて11の部活動がある	20秒
3 よいこと・大変なこと  ・試合に勝つと、うれしい。 ・忍耐力が身に付く。 ・あいさつや礼儀が身に付く。 ・打ち込めることを見付けて、毎日が充実している。  ・体力的にきつい。 ・勉強する時間が取れない。 ・先輩や友達との人間関係が難しい。	部活動をやっている、よいことや大変なことは何か ・自分の成長を実感でき、毎日が充実する ・慣れるまでは体力的にきつく、勉強時間が取れない	1分
4 勉強と部活動の両立  A先輩 集中して授業を受けることが大切だよ！ 休み時間も有効に使っているよ。  B先輩 見たいテレビ番組やゲームの時間を決めるようにしているよ。  C先輩 部活の片づけを早くするなど、協力してむだな時間をなくす工夫をしているわ。	どうすれば勉強と両立できるか ・最大の悩みは、勉強と部活動を両立すること ・うまく両立している人にインタビューした ・共通するのは	1分
5 6年生へのメッセージ 部活動は、心を強くし、毎日を充実させます！ 入部を待っています！	6年生に伝えたいことは ・部活動は心を強くし、毎日を充実させるので、ぜひ入部してほしい	30秒

【班員の意見】

部活動の種類を紹介するだけでなく、それぞれの部の部員の数とか、構成メンバーとか、具体的なことも入れてみてはどうだろう。

六年生が知りたい内容になっていくかな。私は、いつ、どんな活動をしているのか気になったから、活動の様子や時間を入れた方がいいかな。

「部活動と勉強の両立」が中心になって印象を受けるね。「心を強くし、毎日を充実させる」とことと「両立」することの関係がわかるといいね。

一番伝えたいのは、部活動にはたくさんよいことがあるので、入部してほしいということだから、もっと部活動のよさが伝わるようにしたいな。



さとみ



おさむ



めぐみ



つとむ

1 たかしさんたちの【進行案】にある【資料】について説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 話す内容に説得力をもたせるために、六年生が知りたいことを中心に構成している。
- イ 伝えたいことを明確に示すために、それぞれの内容にふさわしい見出しを付けている。
- ウ 事実や聞いたことと自分たちの考えとを区別するために、文字の大きさを変えている。
- エ 大切なことを強調するために、イラストを入れたり文字の周りを囲んだりしている。

2 【進行案】の【説明内容のメモ】の には、何を書くのが適切ですか。【進行案】の内容を踏まえ、五字以上、十字以内で書きなさい。

3 たかしさんたちは、【班員の意見】をもとに、次の【付け加える資料】を作成しました。【付け加える資料】

部活動の風景

活動の様子を紹介します！

陸上部



キャプテンの谷先輩

いいところは・・・
それぞれが目標をもち、一生懸命練習して頑張っているところ。



陸上部の練習メニュー

- 体操
- 日替わりメニュー
(例)・250メートルのインターバル×10本
・校舎周り300メートルの24週のペース走
・校舎周りの24週のビルドアップ
(だんだんペースを上げる。)
- アイシング(バケツに足を浸ける。)(3分)
- 竹踏み(2分)
- ストレッチ・マッサージ (15分)

練習時間
平日 4時～6時半
土日 大会・競技会など
(日によって違う)

(1) 参考にしたのは、だれの意見ですか。さとみさん・おさむさん・めぐみさん・つとむさんの中から一人選び、その名前を答えなさい。

(2) この【付け加える資料】は、【進行案】の中のどの【資料】の後に入ればよいですか。最も適切な場所を、【進行案】の1から4までのの中から選びなさい。また、そう考える理由を、前後の【資料】との関係に触れて説明しなさい。

の後

理由

--

4 たかしさんは、【進行案】にある【資料】5の「6年生へのメッセージ」の部分を担当して紹介することになりました。あなたなら、どのように紹介しますか。次の条件1～条件3にしたがって書きなさい。

条件1 【進行案】の内容を踏まえ、なぜ、「部活動は、心を強くし、毎日を充実させる」のかに触れて書くこと。

条件2 「最後に、六年生へのメッセージを伝えます。」に続けて、六年生に呼びかけるかたちで書くこと。

条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

						最
						後
						に
						、
						六
						年
						生
						へ
						の
						メ
						ッ
						セ
						ー
						ジ
						を
						伝
						え
						ま
						ま
100	80					す。

7 鈴木さんのクラスでは、職業について調べ、スピーチで紹介し合うことになりました。次は、鈴木さんのグループが、アナウンサーの山田さんに行った【インタビューの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビューの一部】

鈴木さん アナウンサーとして、山田さんはどのような仕事をしていますか。

山田さん 地元のラジオ局のアナウンサーは、ニュースを読むだけでなく、番組の企画や取材、それから編集など、ラジオ番組を作っていくことは、何でもやります。

鈴木さん いろいろな仕事があるんですね。仕事の中で、山田さんが

山田さん そうですね。私は、情報を正確に、聞き手に分かりやすく伝えるということを心がけています。この「情報」には、ニュースもあれば、スポーツや地方の取り組みなど、ありとあらゆるものが含まれます。常に、ラジオの前に、だれがどんな姿でいて、どんな情報を求めているのかを考え、その人にとって必要な情報を、正確に分かりやすく伝えることを意識しています。

鈴木さん どうすれば、正確に、聞き手に分かりやすく情報を伝えることができるのですか。

山田さん 一度聞いただけで分かっていたかどうかのようにするために、アナウンスに必要な発声技術や表現力を高めるのはもちろん、幅広い知識を持つことが大切です。伝えようとする内容を自分が理解できていないと、正確に伝えることはできません。

鈴木さん 幅広い知識ですか。その知識を身に付けるために、具体的にはどのようなことをしておられるのですか。

山田さん いろいろな情報に触れて世の中の流れをつかんでおいたり、自分なりに調べて資料を作成したり、毎日が勉強です。アナウンサーは、知っていて当たり前と思われることがたくさんあり、日ごろの地道な努力がなければ一人前にはなれないのです。

鈴木さん アナウンサーとしての勉強は、ほんとうに大変なのですね。でも、それだけやりがいがあるのですか。この仕事をしていて、楽しいのはどのようなときですか。

山田さん 楽しいのは、放送を聞いてくださっている方からメールやファックスをいただいたり、「元気が出た」という声をいただいたりしたときです。でも、ときにはお叱りの声をいただくこともあって、私たちの一言の重みを実感しています。だからこそ、言葉や心をみがいていきたいと思っています。

1 【インタビューの一部】の——線部「して」を「いる」につなげるように、適切な敬語の表現に直しなさい。

二年生の勇氣さんの学級では、卒業する三年生に贈る文集を作成することになり、編集委員の勇氣さんたちが、表紙の写真を決めるために話し合っています。次の【写真】と【話し合いの一部】をもとに、あとの問いに答えなさい。

【写真A】



【写真B】



【写真C】



【話し合いの一部】

勇氣

「卒業」というと、私は「別れ」をイメージします。だから、仲がよかった友だちや先生と別れて、新たな世界に一人で飛び立っていくという印象を受ける【写真A】がいいと思います。

好子

同感です。三年生のクラスで「卒業にあたって感じること」①について話を聞くと、「中学校を離れる寂しさ」と答えた人が最も多かったです。【写真A】は、大空を飛ぶただ一羽の鳥という構図が孤独感を表していると同時に、自由な未来への希望を感じさせてくれます。

直美

それなら、私は、【写真C】がいいと思います。「中学校を離れる寂しさ」というのは、中学校にたくさんの思い出があるからです。この写真は、友だちと過ごした時間を思い出させてくれ、一緒にジャンプしている構図から、友だちと離れても、思い出を胸にがんばっていかうという気持ちが感じられるからです。

太一

なるほど。三年生の答えで二番目と三番目に多かったのは、それぞれ「新しい生活への期待」と「新しい生活への不安と緊張」でした。【写真B】にある一本の道は、過去から未来に続いている道のようです。これまで積み重ねてきたことが、確実に未来につながっていることを感じさせてくれるので、私は、【写真B】がいいと思います。

勇氣

それぞれの意見に納得できるところがあつて、なかなか決められませんね。ただ、私たち後輩が先輩に贈る文集なのだから、後輩として伝えたいことをメッセージとして込めてもいいと思うのですが、どうでしょうか。

好子

賛成。それでは、先輩の思いに重ねて、私たちの思いも伝えるようにしましょう。

9 山本さんのクラスでは、一か月後に行われる文化祭の合唱コンクールに向けて、どのように練習に取り組みばよいかということについて、話し合っています。次の【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

山本(司会) これから、「合唱コンクール」に向けて、クラスでどのように練習に取り組んでいけばよいかについて話し合います。意見がある人は提案を発表してください。

中山 私は、毎日、帰りの学活の後に練習すればいいと思います。クラスで選んだ曲は、男女でパート別に分かれて練習しなければいけないので、毎日練習すれば、音程も安定してきます。何よりも、毎日クラス全員で練習することが、クラスのまとまりを強くすると思います。

大川 私は、毎日の練習ではなくて、週に二、三回程度、全員で練習したらいいと思います。そのほうが、クラスのまとまりを強くすると思います。

A 山本(司会) 大川さん、なぜそのように考えたのですか。

B 大川 はい、毎日だと、練習に集中できない人が出てくるのではないかと思うからです。毎日、帰りの学活の後に練習すると、部活動へ行く時間が一月間ずっと遅くなります。私の部では、文化祭のすぐ後に試合があるので、毎日遅くなると部の方が気になって、練習に集中できなくなります。クラスの他の人も、学活の後にいろんな予定があって、毎日練習があると参加できない人がいると思うので、週に二、三回と決めて集中して練習する方がいいと思います。

C 山本(司会) わかりました。今、二通りの意見がありました。これらの意見は、合唱コンクルの練習を通して [] ということを目標にするということは、共通していると思います。けれど、練習の仕方については違いがあります。二人の意見を聞いて、皆さんはどう思いますか。

田中 私は [] ようにすればいいと思います。なぜなら、「毎日練習があると、後の予定に支障が出るから、練習に集中できなくなる」という大川さんの意見もよくわかるし、一方で、合唱がうまくなるためには、時間の都合がつく人だけでも毎日練習したいという意見の人もいると思うからです。

1 この話し合いの中で、A 山本さんの発言はどのような役割を果たしていますか。次のアからエまでのうち、最も適切なものを選びなさい。

- ア 話題がそれないように、発言をよく聞くことを指示している。
- イ 話し合いが適切に進むよう、時間配分に気を配っている。
- ウ 参加者に多くの発言を求めするため、適切な代案を求めている。
- エ 考えの理由を明確にするように、発言者にうながしている。



生徒会役員の誠一さんたちは、あいさつができる学校にするためにはどうしたらよいかということについて役員会で話し合っています。次の【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

誠一(司会)

朝の「あいさつ運動」では、あいさつをしても、返してくれない人がいます。あいさつができる学校にするための、みなさんの提案を発表してください。

陽子

私は、あいさつの大切さを呼びかけることが大事だと思います。あいさつの大切さを分かっているから、返してくれないと思うのです。放送委員会にお願いして、お昼の放送で呼びかけてはどうでしょうか。

昇

お昼の放送で呼びかけるだけで、あいさつができるようになるのかな。あいさつについてどう思っているか、自分や友達のあいさつについてどう感じているか、アンケートをとって聞いてみるのはいかがでしょうか。その結果を発表すればあいさつについて考えられると思います。

真美

そうですね。でも、「今のままで十分できている」とか、「あいさつなんてどうでもいい」なんて答えが多かったら、どうするのですか。アンケートは、手間がかかるのに使えないなんてことになるかもしれませんよ。

昇

そんな答えが多かったとしても、そういう実態があるからこそ、あいさつの大切さについて考えることが重要だということをお伝えされると思います。

誠一(司会)

真美さん、昇さん、意見は全員の提案が終わってからにしてください。真美さんの提案は、どんなことですか。

真美

私は、朝の「あいさつ運動」の時に、「大きな声」とか、「目を見て」などの、よいあいさつができた人にかじめ用意しておいた簡単なカードを渡してはどうかなと考えています。そして、カードをたくさん集めた人を表彰するのです。

優子

面白そうですね。私の提案も、「あいさつ運動」のときに、クラス単位で「あいさつ率チェック表」を付け、一か月ごとにあいさつ率がよかったクラスを表彰するというものです。クラスで競い合うことで、楽しみながらあいさつの活性化が図れると思います。

誠一(司会)

あ

これで、みんなの意見が出ました。

陽子

優子さんに聞きたいのですが。クラスで競い合うというのは、とてもおもしろいと思います。でも、どんなふうにチェックしようと思っているのですか。

1

で困んだ司会の誠一さんの発言は、どのような役割を果たしていますか。次のアからエまでのうち、最も適切なものを選びなさい。

ア 話の流れに沿った発言を促す役割

イ 考えの理由を明確にする役割

ウ 発言の内容を要約する役割

エ 様々な意見をまとめる役割

大島さんは、国語の時間に、「今一番好きなこと」についてスピーチをする学習に取り組んでいます。大島さんは、動画に自分のスピーチを記録し、川口さんと青木さんに見せて助言をもらっています。次の【大島さんのスピーチ】と【三人の会話の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【大島さんのスピーチ】

音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。私が今、一番好きなことは楽器を演奏することです。私は音楽部に入っていて、放課後は毎日練習を頑張っています。部員の心がひとつになって、美しい演奏ができたときは、達成感でいっぱいになります。聞いている人が、自然と笑顔になれるような、そんな音楽を演奏したいと思っています。

私が音楽部に入ろうと思ったのは、小学校六年生のときです。姉の中学校の文化祭を見に行ったときに、舞台上で音楽部の人たちが演奏しているのを聞いて、かっこいいなと思いました。演奏している人と聞いている人が一体となっていると感じられる、とても楽しい時間でした。そのときから、中学校に入学したら、絶対に音楽部に入ろうと心に決めていました。

（動画を止める）

中学校に入学して、私は迷うことなく音楽部に入りました。ところが、最初のころは全く音が出ず、楽しいはずの部活動にいくのが苦痛になってきました。周りが上手になっていくのを見ると、だんだんと不安が大きくなり、部活動を辞めようかと悩んだこともあります。

でも、そんなときにいつも心の支えになってくれる友達がいきました。先生や先輩は、なかなか上手に演奏できない私に、ていねいに教えてくれました。温かく接してくれる人たちのおかげで、私は少しずつ上達することができました。初めての夏のコンクールでは、演奏が始まるまでの間、楽器を持つ手が震えていました。でも、いざ演奏が始まると、思っていたよりも落ち着いて演奏できました。この日までの練習を、仲間と共に一生懸命頑張ってきたからだと思います。仲間の存在は本当にありがたいです。入賞したと分かったときは、自然と涙が出ました。仲間と肩を抱き合って喜んだのを今でもはつきりと覚えています。

秋の文化祭では、たくさんの観客の前で演奏することができました。文化祭の感想に、「音

【三人の会話の一部】



川口 ここで動画を止めてもらえますか。「音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。」という冒頭の部分は、聞き手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりする表現にしてみています。①
ではどうでしょうか。

大島 それから、聞いている人は、なぜ音楽部に入ろうと思ったのかを知りたいと思うので、音楽部に入るきっかけを話しているのはよいと思います。ありがとうございます。

楽部の人たちの演奏がよかった。迫力のある演奏にとっても感動した。」と書いてくれている人がたくさんいて、とてもうれしかったです。音楽は、人に感動を与えることができると思いためて思いました。一年前に、自分が演奏を聞いて感動した場所で、今度は演奏する立場でいられることを幸せに感じました。

(動画を止める)

今は、とにかく演奏することが楽しくて楽しくて仕方ありません。今のこの気持ちを忘れることなく、練習に取り組みたいと思います。これからもたくさんの人に、心を動かす美しい音楽を届けたいと思います。

(動画を止める)

大島

具体的な体験を入れてみました。が、どうでしょうか。

青木

体験が入っているのはよいですね。ただ、コンクールと文化祭のエピソードのうち、^②今回の大島さんのスピーチには、文化祭のエピソードだけでよいのではないのでしょうか。

川口

大島さんが伝えたい内容は分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているので、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話し方を工夫してみてもどうでしょうか。例えば、「聞いている人が、自然と笑顔になれるような、そんな音楽を演奏したい」と思っています。」という部分は、大島さんが伝えたい内容だと思うので、声を大きくするとよいのではないのでしょうか。^③

大島

なるほど。他の部分も話し方を工夫してみます。

話し方の工夫については、小学校三、四年生で「相手を見て話すこと」「言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと」を学習しています。

さらに、中学一年生では、「相手の反応を踏まえながら話すこと」、二年生では、「資料や機器を用いるなどして話すこと」、三年生では、「場の状況に応じて言葉を選ぶなどして話すこと」など、さまざまな工夫があることを学習します。

スピーチで話し方を工夫する際には、まず、スピーチの目的を確認し、自分が最も伝えたいことを明らかにしたうえで、工夫すべき部分と具体的な工夫を考えるようにしましょう。



東さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。仕事に関する情報を集めていた東さんは、和菓子づくりをしている山野さんが紹介されている広報誌を見つけました。山野さんの記事に興味をもった東さんは、店を訪問してインタビューをしました。次の【地域の広報誌の記事】、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【地域の広報誌の記事】

和菓子づくりにかける思い

和菓子をつくるに当たって、最も大事にしているのは、かわらないおいしさです。お子様からお年寄りまで、どの年代の方にもおいしいと感じてもらえるような和菓子づくりを常に心がけています。しかし、かわらないおいしさだけでなく、見た目や健康面への配慮も大事にしたいと考えています。

現在、私は、新しい見た目の和菓子づくりに挑戦しています。和菓子というと、日本の花をかたどったものなど、上品で美しいものが多いですが、すいかやクリスマスツリーなど、これまでにはなかったような見た目のものを季節に合わせて販売しています。お客様には、ご好評をいただいています。かわらないおいしさを保ちつつ、見た目や健康面への配慮をした和菓子をつくるのは難しいことですが、よりよい和菓子をお届けできるように努力を重ねています。

〈インタビューの目的〉

山野さんの和菓子づくりに対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「かわらないおいしさだけでなく、見た目や健康面への配慮
① も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
- ・「かわらないおいしさを保ちつつ、見た目や健康面への配慮をした和菓子をつくるのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

【インタビューの前に準備したメモ】

【インタビューの様子】

東

大空中学校の東と申します。先日、地域の広報誌で、山野さんの記事を拝見しました。今日は、山野さんの和菓子づくりに対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

山野

こちらこそ、よろしくお願ひします。

さっそくですが、山野さんは、和菓子づくりに当たり「かわらないおいしさだけでなく、見た目や健康面への配慮も大事にしたい」とおっしゃっていましたが、そのように考えるのはどうしてですか。

山野

はい。お客様に味に満足してもらえるようにすることは当然なのですが、それだけでは不十分で、さまざまな種類の見た目や、健康面に配慮したものが求められるからです。お客様向けのアンケートなどからも、そういった声が多く聞かれます。例えば、子どもが喜ぶような見た目がかわいいものもつくってほしいという声です。これまで販売してきた和菓子は、味がよく、色や形など見た目も上品で美しいと喜ばれていましたが、どの年代の人にも和菓子のよさを知ってもらうためには、見た目に新しいものを取り入れることも大切だと思うようになりました。先日、お店に来たお客様がす

直子さんの学級では、総合的な学習の時間に地域と自分たちのつながりを考える学習をしています。次は、直子さんが取材した佐藤さんに送ろうとしている【案内状】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【案内状】

平成30年3月1日

あせび町内会
会長 佐藤一夫様

あせび中学校
1年1組 高田直子

1年1組学習発表会のご案内

寒さもようやくゆるんできましたが、いかがお過ごしでしょうか。私たちは元気に学校に通っています。

先日は、住みよい町づくりについての町内会の取り組みについて取材させていただき、ありがとうございました。佐藤さんのお話をお聞きして、私たちの町をいっそう大切に感じるようになりました。

さて、私たちの学級では、下記のように学習発表会を開催します。

発表会では、各班の発表をもとに話し合い、私たち中学生が地域のためにできることを考える機会にしたいと思っています。

お忙しいと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

記

- 1 日時 平成30年3月14日(月) 午後1時半より
- 2 内容 ・各班の発表
・話し合い「私たちが地域のためにできることは」
- 3 その他 ・午後1時に正面玄関においでください。
・出欠のお返事を、同封のはがきにて、3月10日までにお知らせください。

1 直子さんの案内文には、伝えるべき事柄で入っていない内容があります。それは何ですか。

2 直子さんは、の部分に、次の【メモ】の内容を書こうと考えています。あなたなら、どう書きますか。【メモ】を参考にして、次の条件1と条件3にしたがって書きなさい。ただし、案内状には横書きで書くこととします。

【メモ】

- ・ 発表内容 〓 あせび町内会の「住民の心をつなぐ取り組み」
- ・ 助言をしてほしい。から考えたこと。

久美さんたちは、職場体験学習で「あわ保育園」に行き、そのお礼状を書いています。次は、久美さんが書いた【お礼状の下書き】とそれについての【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【お礼状の下書き】

A

さわやかな秋晴れが続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はお忙しいところ、職場体験をさせていただき、ありがとうございました。小さな子どもたちはじっとしていないので、少しの間も目が離せず、保育士の仕事はとても大変だと思いました。でも、先生方に親切に指導していただき、有意義な体験をすることができました。

この体験で学んだことをこれからの生活や学習に役立てていきたいと思っています。本当にありがとうございます。

B

九月二十日

あせび中学校二年

川上 久美

新井 洋子

吉田 千晶

あわ保育園のみなさま

【話し合いの一部】

洋子

職場体験学習は、とてもいい勉強になりましたね。

千晶

ほんとに。「あわ保育園」では、先生方に親切に指導していただいて、保育士という仕事の大変さやすばらしさがよく分かりました。

久美

それで、お礼状の下書きを書いてみたのですが、うまく書けなくて。どう書いたらいいでしょうか。

洋子

そうですね。何を伝えたいかが大切だと思います。この内容だと、保育士の仕事は大変だということが中心になっているように感じるけれど、それでいいのですか。

千晶

私は子どもが好きだから訪問先に保育園を選びました。子どもはともかわいかったけれど、かわいいという気持ちだけでは、この仕事はできないと思いました。

久美

だから、先生方が、一人一人の子どもの目線に立って、その子のよさを伸ばしていることには、感動しました。そんな気持ちを伝えたいですね。



洋子 そうですね。体験して感じたことを、それが分かるように書けばいいのですね。私
が印象に残っているのは、園長先生の「未来の希望を育てる」というお話です。

久美 子どもたちはこれからの未来をつくっていく輝く希望だから、大切に育てるんだと
いうお話ですね。そして、私たちのことも、同じ「希望」だと言ってくださったのは、
うれしかったです。

千晶 それから、先生方みなさんが、気軽に声をかけてくださったので、緊張せずに体験
ができてよかったです。

洋子 では、そんなことを書いてみましょう。

1 【お礼状の下書き】の **A**・**B** に当てはまる頭語と結語を書きなさい。

A

B

2 久美さんたちは、お礼状をどのように書き直すことになりましたか。【話し合いの一部】を
もとに、最も適切なものを、**A**・**B**から選びなさい。

- ア 伝えたいことを明確にするために、大変だと思った理由を具体的に書く。
- イ 相手にとって失礼にならないように、お礼状にふさわしい言葉遣いにする。
- ウ 感謝の気持ちが伝わるように、体験した内容や感じたことを具体的に書く。
- エ 何を学んだかがわかるように、子どもに対する気持ちの変化を付け加える。

3 久美さんたちは、お礼状の主文の部分を書き直すことにしました。あなたならどのような書
き直しますか。次の【書き直したお礼状】の の部分を、条件1・条件2にしたがって
書きなさい。

【お礼状の下書き（主文）】

さて、先日はお忙しいところ、
職場体験をさせていただき、あ
りがとうございました。小さな
子どもたちはじっとしていな
いので、少しの間も目が離せず、
保育士の仕事はとても大変だと
思いました。でも、先生方に親
切に指導していただき、有意義
な体験をすることができました。



【書き直したお礼状（主文）】

さて、先日はお忙しいところ、
職場体験をさせていただき、あ
りがとうございました。

また、先生方が気軽に声をかけ
てくださったので、有意義な体
験をすることができました。

原西さんたち生徒会のメンバーは、次のような【募集要項】を作り、全校生徒に「あいさつ標語」を募集しました。次は、【最終選考に残った標語】A・Bと、標語を批評する文章を書くために話し合いを行っている【話し合いの一部】です。あとの1・2に答えなさい。

【募集要項】

「あいさつ標語」を募集します

春川中学校生徒会

- ◇ 目的
生徒会では、地域清掃活動に取り組んでいます。今年、地域の人たちとの連携をさらに図るために、あいさつ運動も行おうと思います。そこで、「あいさつ標語」を募集します。
- ◇ 応募条件
 - ① 地域の人々とのつながりを印象付けるもの。
 - ② これまでの生徒会の活動と関連付けるもの。
 - ③ 具体的な言葉で分かりやすく表現されたもの。
 - ④ 文字数は30字以内とする。
- ◇ 募集期間
令和〇年〇月〇日から〇月〇日

【最終選考に残った標語】

A 地域の輪 つながる広がる 交わす言葉で

B あいさつで 街も気持ちも クリーンに

【話し合いの一部】

先生

「あいさつ標語」を決定するために、標語を批評する文章を書きます。批評とは、対象とする事柄のよさや特性、価値などを論じたり、評価したりすることです。応募された標語と、募集要項にある目的や応募条件とを照らし合わせて考えてみるとよいですね。

原西

私はAの標語がよいと思います。応募条件①にある「地域の人々とのつながり」を、「**イ**」を、「**ア**」という比喩表現で表しているからです。また「**イ**」という表現には、繰り返しの表現によるリズムも出ていると思います。

岡崎

Bの標語の「街も気持ちも クリーンに」は、生徒会が行っている「地域清掃活動」と、今年から取り組む「あいさつ運動」との両方を含んだ表現になっています。

先生

募集要項にある目的や応募条件を引用して、どちらの標語を選んだかが分かるように書きましょう。

1 【話し合いの一部】の【ア】と【イ】に当てはまる適切な言葉を、【最終選考に残った標語】Aの中からそれぞれ書き抜きなさい。

ア	イ

2 AとBの標語のうち、あなたならどちらの標語を選びますか。選んだ標語とその理由を、次の条件1・条件2に従って書きなさい。

条件1 選んだ標語の特徴に触れながら、【募集要項】の目的や応募条件の内容を根拠に、標語を選んだ理由を書くこと。

条件2 漢字を適切に使い、原稿用紙の正しい使い方に従って百字以上、百二十字以内で書くこと。

選んだ標語	
-------	--

							120
					100		

あゆみさんのクラスでは、「枕草子」の表現をまねて随筆を書きました。次は「枕草子」の第一段と、あゆみさんの書いた文章【A】、ひかるさんの書いた文章【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【枕草子】

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ、ほたる螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。(第一段)

【A】

春は、昼下がり。ぼかぼか暖かくなった日ざしの中、校庭の満開の桜の下を歩く。花びらの間から見える青い空。吹く風に一斉に舞い散る花びらが、そろつてダンスをしている。

夏は早朝。太陽が昇り、さわやかで澄んだ空気の中で露草がほほえむ。また、木の葉も太陽の光を反射して、一日の始まりにエールを送る。葉っぱたちの笑顔が光る。

【B】

春は、始業式の朝。新しいクラス、新しい出会いにわくわくしながら少し早く家を出る。友達と交わすあいさつの声が、いつもと違って聞こえる。クラス発表を待つ時間は、心臓の鼓動が大きく速くなる。早く来てほしいよな、ずつと来てほしくないよな、複雑な気分。

夏は、炎天下の昼。焼け付く太陽に負けないように、グラウンドでボールを追いかける。ボールが太陽に白くにじむ。チームメイトの声にはげまされ、自分も声を返す。楽しみは、部活を終えた後のお茶。冷たさが、しみとおる。



1 【枕草子】と【A】、【B】を比べてみると、二人は共通してある表現の仕方をまねていることがわかります。それは、どのようなところですか。最も適切なものをア～エから選びなさい。

ア 春と夏の時間ごとの自然の美しさを、聴覚を中心にテンポよく表現しているところ。
イ 観察により気付いた春と夏のよさを、ひゆ比喩を用いて印象的に表現しているところ。
ウ 春と夏の心ひかれる時間の情景を、文末を工夫してリズムよく表現しているところ。
エ 変化する自然の様子を、春と夏の風物に着目して歯切れよく表現しているところ。

2 あゆみさんは、次のような【カード】を【A】にそえました。あなたは、——線部「新しい一日に期待してはむ気持ち」を【A】のどの表現から感じますか。適切な言葉を【A】の文章中から十五字以内で抜き出して書きなさい。

【カード】

清少納言は、その季節をよく表す時刻の好ましい風景を、写真を見ているように印象的に表現しています。私も、春と夏の季節の中で一番好きな場面の情景やよさが伝わるように、工夫して書きました。用いた比喻によって、晴れやかさや、新しい一日に期待してはずむ気持ちが伝わればいいと思います。

3 ひかるさんは友達から次のようなアドバイスをもらい、文章を修正しました。あなたは、【B】と【ひかるさんが修正した文章】を比べると、どのようところがよくなったと思いますか。(書き方の例)にしたがって、二つ書きなさい。

(書き方の例)

□ (した) □ ので、

□

ところがよくなった。

この文章は、自分の気持ちを声や音と重ねて書いているんだね。せつかくだから、そこをもっと工夫するとよくなると思うよ。
また、いちばん伝えたいことは、お茶がおいしいということのように感じるな。この部分は、必要なのかな。



【ひかるさんが修正した文章】

春は、始業式の朝。新しいクラス、新しい出会いにわくわくしながら少し早く家を出る。「おはよう」。友達と交わすあいさつの声が、いつもと違って聞こえる。クラス発表を待つ時間は、心臓の鼓動がトックトックと大きく速くなる。早く来てほしいような、ずっと来てほしくないような、複雑な気分。
夏は、炎天下の昼。焼け付く太陽に負けないように、グラウンドでボールを追いかける。ボールが太陽に白くにじむ。「いくぞ」「その調子」「いいぞ」。チームメイトの声にはげまされ、自分も声を返す。流れ落ちる汗が、きらりと光る。

のど、
ところがよくなった。

のど、
ところがよくなった。

好美さんは、美術の時間に、心ひかれた美術作品の鑑賞文を書くことになり、次の【葛飾北斎「神奈川沖浪裏」】を選び、作品から受けた印象を【付せん】に書きました。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【葛飾北斎「神奈川沖浪裏」】



【付せん】

生き物のようにうねる巨大な波が目飛び込んできて、迫力がある。

くだけ散る真っ白な波の間から、富士山を見ているような気になる。

(注)・葛飾北斎は江戸時代の浮世絵師。浮世絵は江戸時代に流行した風俗画。

・「神奈川沖浪裏」は「富嶽三十六景」(富士山をそれが見える各名所から描いた浮世絵連作)のうちのひとつ。

1 好美さんは、【付せん】のように感じた根拠を次の【ノート】にまとめました。【ノート】の【a】から【d】に当てはまる言葉を、【付せん】からそれぞれ抜き出して書きなさい。

【ノート】

根拠となる表現	
構図	対象や素材
画面手前に【a】と、中央に小さく【b】が描かれている。	飲み込まれそうな船と、控えめに【b】が描かれている。
色彩(色の使い方)	音
海には深い青が、波頭と富士山には【c】が使われ、明暗がはっきりと描かれている。	ザッパーンと、【d】波の音が聞こえる。

a	b
d	c

高橋さんはユネスコ無形文化遺産に登録されている和食について、クラスのみんなに知らせたいと思いました。次は、高橋さんの【パンフレットの下書き】と参考にした【資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【パンフレットの下書き】

和食：日本人の伝統的な食文化

特徴① 多様で新鮮な食材と素材の味わいの活用

国土が南北に長く、海、山、里と表情豊かな自然が広がっているため、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。



特徴② バランスがよく、健康的な食生活

一汁一菜を基本とする日本の食事スタイルは理想的な栄養バランスといわれています。うま味を上手に使うことで動物性油脂の少ない食生活を実現し、長寿、肥満防止に役立っています。



特徴③ 自然の美しさの表現

季節の花や葉を料理にあしらひ、美しく盛り付ける表現法が発達しました。季節にあった調度品や器を利用して、季節感を楽しみます。



特徴④ 年中行事との関わり

自然の恵みを分け合い、年中行事と密接に関わっています。食事の時間を共にすることで、家族や地域の絆が強くなります。



(農林水産省ウェブページ「和食文化の継承の取組について」より作成)

【資料】

和食の文化がユネスコの無形文化遺産に登録された。所管する農林水産省によれば、登録されたのは個々の料理やそのメニューではなく、文化、つまり「日本の伝統的な食文化」である。(略)

世界には和食に限らず、地域名を付した食はいくらかもある。それらが食文化として成立している背景には、その食材を生産する風土があり、その食材を組み合わせて調理する文化があり、そしてそれにマッチした食器やしつらえの文化がある。和食を例にさらに詳しくみてみよう。一汁一菜の「汁」は豊富な水の存在を背景にする。出汁のうまさは、多様な魚種があることのほか、軟水があることが条件になる。内陸に塩がなく、しかも川が急流であることが、日本列島の水を軟水にしたといわれる。

さらに南北に長く気候の変化に富むこと、火山列島であって複雑な地質を持つことから、採集の対象となる植物資源も多様で、またさまざまな栽培植物の栽培を可能にした。明確な四季が、「旬」をもたらした。複雑な海岸地形は海岸線を長くし、また潟湖の発達を促し、新鮮で多様な魚種の生息を可能にしてきた。多様な食材の存在は、こうした、気候や土地、地質の多様性に支えられているのである。

(佐藤 洋一郎「食の人類史」より)

20 岡さんは、国語の時間に、「環境問題」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って書いた【岡さんの意見文の下書き】と友達が書いた【コメントの一部】、岡さんがコメントを受けて集めた【環境省の資料】、【内閣府のウェブページの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【岡さんの意見文の下書き】

令和2年7月からレジ袋の有料化が義務づけられた。私は、それまであたりまえのようにもらっていたレジ袋が有料化されると聞いたときは、正直驚いた。家族も最初は、マイバックを持つのは面倒だと思っていたようだ。しかし、出かけるときにマイバックを持参することを意識していると、それがいつのまにか習慣になり、今ではそれがあたりまえになっている。レジで並んでいると、多くの人がマイバックを持参していることが分かる。みんなが意識すれば、社会のさまざまな問題は、少しずつ解決されていくのではないだろうか。

ところで、皆さんは、なぜレジ袋の有料化が進められたのかを知っているだろうか。それは、プラスチックごみを減らすためである。プラスチックごみによる海の環境汚染は世界的に問題になっており、①この問題を解決するためには、レジ袋の削減以外にも意識しなければならないことがある。

そこで、私は、丸山中学校の皆さんにも、一人一人がプラスチックごみを減らすことを意識してほしいと考えている。では、②具体的に、レジ袋の削減以外で、どのようなことに取り組みればよいのだろうか。

③私たちが便利さを求めた結果、海の環境汚染が起きている。プラスチックごみを減らすために、私たちにできることを少しずつ行動に移していこう。私たちの手で解決していかななくてはならないのである。

【コメントの一部】

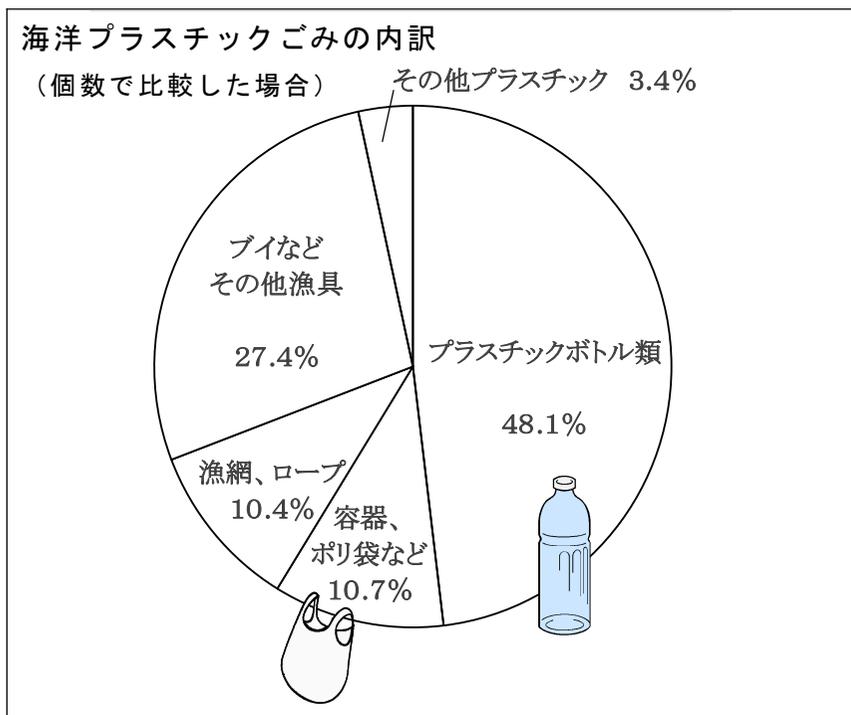
小林

「この問題を解決するためには、^①レジ袋の削減以外にも意識しなければならないことがある。」と考えたのはどうしてなのか、理由を書いた方がよいと思います。理由を書くと、そのあとの具体例が生きてくるのではないのでしょうか。

竹内

「私たちが便利さを求めた結果、^③海の環境汚染が起きている。」に続けて、今後どんな問題に発展していくかなど、環境汚染を自分の問題と思えるような情報を伝えてはどうでしょうか。そうすれば、岡さんの考えが伝わりやすいように思います。

【環境省の資料】



(環境省「海洋ごみをめぐる最近の動向(平成30年9月)」より作成。)

【内閣府のウェブページの一部】

日本では、2018年の夏、神奈川県鎌倉市の浜辺に打ち上げられたクジラの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが出てきました。クジラは海に漂流するビニール袋をエサと間違えて食べてしまいます。しかし、ビニール袋は消化されないため、クジラの胃の中がビニール袋でいっぱいになり、魚などのエサが食べられなくなって死んでしまったと考えられます。

なぜ、海の生き物がプラスチックを食べてしまうのでしょうか。それは、私たちが使ったプラスチックのごみが、大量に海に流れ出てしまっているからです。プラスチックは自然分解されないため、ずっと海に残ります。世界経済フォーラムの報告書によると、今後も海に流れ込むプラスチックごみが増えれば、2050年には海のプラスチックごみは魚の量を上回ると予測されています。

容器包装から家庭用品やおもちゃまで、日常生活のあらゆる場所で利用されているプラスチック。便利な一方で、ポイ捨てなど不適切に処分されたプラスチックごみが大量に海に流れ出て、海の環境を汚し、海の生き物にも悪影響を及ぼしています。海のプラスチックごみを減らすために、私たち一人一人のプラスチックとの賢い付き合い方が問われています。

(「政府広報オンライン(令和元年5月)」より作成。)

1 岡さんは、小林さんからの【コメントの一部】を踏まえて、——線部①「この問題を解決するためには、レジ袋の削減以外にも意識しなければならぬことがある。」のすぐあとに、このように述べた根拠を書き加えることにしました。あなたが岡さんなら、どのように書きますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

条件1 【環境省の資料】から分かることを書くこと。

条件2 「なぜなら、」に続けて書くこと。

2 岡さんは、——線部②「具体的に、レジ袋の削減以外で、どのようなことに取り組めばよいのだろうか。」のあとに、具体的な取り組みを書こうとしています。岡さんが考えた取り組みの例として、適切なものを、次の**ア**から**エ**までの中から**一つ**選びなさい。

ア レジ袋は断ってマイバックを使ったり、出かけるときはマイボトルを持ち歩いたりすること。

イ レジ袋は断ってマイバックを使ったり、洗顔や歯みがきのときに水をこまめにとめたりすること。

ウ シャンプーなどは詰め替え用の商品を選んだり、出かけるときはマイボトルを持ち歩いたりすること。

エ シャンプーなどは詰め替え用の商品を選んだり、洗顔や歯みがきのときに水をこまめにとめたりすること。

3 岡さんは、竹内さんからの【コメントの一部】を踏まえて、——線部③「私たちが便利さを求めた結果、海の環境汚染が起きている。」のすぐあとに、今後どのような問題に発展していくおそれがあるかについて、書き加えることにしました。あなたが岡さんなら、どのように書きますか。次の**条件**にしたがって書きなさい。

条件 【内閣府のウェブページの一部】から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ（「」）でくくること。

1

なぜなら、

2

3

夏美さんの学級では、宮沢賢治みやざわ けんじの作品を紹介し合う学習に取り組んでいます。次は、夏美さんの班が【紹介する詩】と、紹介するための【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【紹介する詩】

作品第一〇〇四番

宮沢賢治みやざわ けんじ

今日は一日あかるくにぎやかな雪降りです
ひるすぎてから

わたくしのうちのまわりを

巨おおきな重おいあしおとが

幾度いくどともなく行きすぎました

わたくしはそのたびごとに

もう一年も返事を書かない

あなたがたずねて来たのだと

じぶんでじぶんに教えたのです

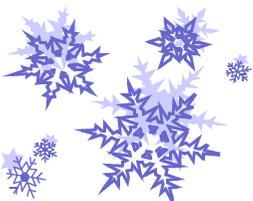
そしてまったく

それはあなたのまたわれわれの足音でした

なぜならそれは

いっばい積こすえんだ梢こすえの雪が

地面の雪に落ちるのでしたから



【話し合いの一部】

夏美 この詩の「あなた」というのは、のことですね。この詩からは、心待ちにしていたが来る喜びが伝わってくるような気がします。

良夫 作者は、梢の雪が地面に落ちる音を聞いて、このことを実感しているのですね。どさっ、どさっ、どさっ、と雪のかたまりが何度も落ちる。その音を、「あしおと」に例えているのは、とてもおもしろいと思います。

明子 私も、「巨おおきな重おいあしおと」という表現が気になりました。「大」ではなく「巨」を使っていることで、。

広 それに、この「あしおと」は、ひらがなですね。ひらがなで書くことによって、梢から落ちるずしりとした雪の重みや、響いてくる音の大きさがよく伝わってくるように感じます。

夏美 そうですね。ところで、一つ疑問があります。「あかるくにぎやかな雪降り」という言葉なのですが、「雪降り」の日なのに、なぜ「あかるくてにぎやか」なのでしょう。

明さんは、ハンバーグづくりに挑戦しようと思っています。次は、友達にいいハンバーグの作り方を聞いた【会話の一部】と、料理の本で調べたことをまとめた【ノート】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【会話の一部】

友子

ハンバーグなら任せておいて。コツは、ボールの中でみじん切りしたタマネギやひき肉などの材料をよくこねることよ。粘りけが出るまで、手でよくこねるといいわ。

健治

タマネギのみじん切りは苦勞するね。細かく刻むのは時間がかかるし、目が痛くなるから。

由美

おいしくふっくらとなるするには、焼き加減が大事よ。種を小判型にまとめて、中央を少しくぼませてから、油を引いたフライパンに入れるのだけど、その時、ジュツと音がするくらいにフライパンを熱しておく必要があるわね。

明

「ジュツと音がするくらい」といっても、フライパンに温度計が付いているわけでないから、どうしたら分かるの。

友子

知っているわ。熱したフライパンに手をかざしてみて、熱いくらいがちょうどいいの。油から煙が立ったら熱し過ぎよ。

由美

強火で表面に焼き目を付けたら、ふたをして中火で十分くらい焼くと、火が通るわよ。

【ノート】

2月15日

〈ハンバーグの材料（4人分，4個）〉

- | | |
|-----------------|--------|
| ・牛と豚の合いびき肉 | 300グラム |
| ・タマネギ | 1個 |
| ・卵 | 1個 |
| ・パン粉 | 1／2カップ |
| ・牛乳 | 1／5カップ |
| ・塩 | 小さじ1 |
| ・ナツメグ，こしょう，サラダ油 | 少々 |



〈ハンバーグの作り方〉

- ① タマネギは、冷蔵庫で冷やしておく。
※目にしみにないようにするため
- ② タマネギをみじん切りにし、中火でしんなりするまでいため、冷ましておく。 [A]
- ③ ボールにひき肉，[A]，卵，パン粉を入れる。 . . [B]
※パン粉はあらかじめ牛乳でしめらせておく
- ④ [B]に、塩，ナツメグ，こしょうを入れ、手で（☆）よくこねる。 [C]
- ⑤ [C]を4等分して小判型にまとめ、中央を少しくぼませる。 [D]
- ⑥ よく熱したフライパンに油を引き，[D]を入れる。
※ジュツと音がする，煙が出るのは熱し過ぎ
- ⑦ 強火で両面の表面を焼き，焼き色が付いたらふたをして中火で約10分焼く。
- ⑧ 竹串を刺して透明な肉汁が出てきたら，火を止めて取り出す。

1 明さんの【ノート】は、どのような工夫をして書いていますか。最も適切なものをア〜エから選びなさい。

ア 会話で得た情報や自分で調べた情報をできるだけ多く盛り込み、疑問が出て対応できるように詳しく書いています。

イ 会話で得た情報や自分で調べた情報の中から必要な情報だけを選び、記号を用いて重要なものから順に書いています。

ウ 会話で得た情報や自分で調べた情報だけでなく、自分の考えやイラストを入れて手順にしたがって書いています。

エ 会話で得た情報や自分で調べた情報を手順にしたがって整理し、記号を使って簡潔にまとめて書いています。

2 【会話の一部】の中で〓線「種」といつていたのは、【ノート】では何にあたりますか。【A】から【D】までの中から、最も適切なものを選びなさい。

3 【ノート】の（☆）の中に入る適切な言葉を、【会話の一部】の中から十字以内で抜き出して書きなさい。

4 明さんは、疑問があつたので、料理の本を調べて次の内容を見付け、疑問を解決することができました。明さんが分からなかったことは何ですか。【会話の一部】と【ノート】を参考に、「という疑問」に続くように、二十字以上、二十五字以内で書きなさい。

25		
20		

という疑問

ハンバーグの作り方のコツ

ハンバーグは焼いていくと真ん中がふくらんできます。周りにこげ目が付いているのに中が生ということがないようにし、火の通りを均一にするためには、あらかじめ真ん中をくぼませておく必要があります。

中まで火が通ったかどうかを確かめるには、竹串を指してみます。透明な肉汁が出てきたら、焼けているという証拠。濁った肉汁の場合は、もう少し焼きましょう。

良夫さんは、県外の友達を案内するために、徳島県の観光パンフレットを見て「鳴門の渦潮」に興味をもちました。次は、【パンフレットの1部】と、良夫さんがまとめた【メモ】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【パンフレットの1部】

世界最大規模 鳴門の渦潮

鳴門市孫崎まごさきと淡路島との間の鳴門海峡かいきょうには、大小無数の渦が巻き、春と秋のおおしお大潮時に最大になり、最大直径 20m にもおよびます。これは、世界でも最大規模と言われ、最大流速は時速 20km にも達し、激しい潮流から発生するごうおん轟音から鳴門（鳴る瀬戸）の名が生まれたと言われています。また、イタリアの「メッシーナ海峡」とカナダの「セイモア海峡」と並ぶ、世界の三大潮流と呼ばれています。

(注1) 大潮=新月と満月のころの、潮の満ち引きの差が一番大きいとき。

(注2) 轟音=大きく響きわたる音。

(徳島県観光協会のパンフレットより作成)



【メモ】

1月17日

鳴門海峡とうず潮について

(パンフレットより)

- ・鳴門のうず潮は（ア）と（イ）の点から、世界最大規模である。
（ア）→ 大潮時の最大直径は、20m
（イ）→ 最大流速は、20Km/時
- ・大きく響く潮の音から「鳴門」の名が生まれた。
- ・イタリアの「メッシーナ海峡」、カナダの「セイモア海峡」と並んで、世界三大潮流と呼ばれている。

(疑問)

- Q 世界最大規模というのは、本当か？
- Q 鳴門に大きなうず潮ができるのはなぜか？

1 良夫さんの【メモ】の（ア）・（イ）に当てはまる言葉を、【パンフレットの1部】を参考にして、それぞれ書きなさい。

イ ア
（ ） （ ）
（ ） （ ）

次の文章【A】・【B】は、昭和十四年に書かれた「富嶽百景」の一部で、作者が見た富士山の様子について書かれた部分です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

十国峠じゅうこくとうげから見た富士山は、高かった。あれは、よかった。はじめ、雲のために、頂が見えず、私は、その裾の勾配こうばいから判断して、たぶん、あそこあたりが、頂であろうと、雲の一点にしろしをつけて、そのうちに、雲が切れて、見ると、ちがった。私が、あらかじめしろしをつけておいたところより、その倍も高いところに、青い頂が、すつと見えた。おどろいた、というよりも私は、へんにくすぐったく、げらげら笑った。やっていやがる、と思った。人は、完全のたのもしさ①に接すると、まず、だらしなくげらげら笑うものらしい。全身のネジが、他愛なくゆるんで、これはおかしな言い方であるが、帯紐おびひもといて笑うといったような感じである。諸君が、もし恋人と逢あって、逢ったとたんに、恋人がげらげら笑いだしたら、慶祝けいしゆくである。必ず、恋人の非礼をとがめてはならぬ。恋人は、君に逢って、君の完全のたのもしさを、全身に浴びているのだ。

(太宰治「富岳百景」より。一部表記等を改めたところがある。【B】も同じ。)

(注1) 十国峠 静岡県伊豆半島北部にある峠。標高七六五メートル。眺望の名所として知られる。

(注2) 帯紐をとく 安心して気をゆるす。(帯紐は着物を着るときに使う帯と紐のこと。)

(注3) 慶祝 よろこび祝うこと

【B】

その夜の富士がよかった。夜の十時ごろ、私は、眠れず、外へ出てみた。おそろしく、明るい月夜だった。富士が、よかった。月光を受けて、青く透きとおるようで、私は、狐きつねに化かされているような気がした。富士が、したたるように青いのだ。燐りんが燃えているような感じだった。鬼火。狐火。ほたる。すすき。葛くずの葉。私は、夜道を、まっすぐに歩いた。下駄げだの音だけが、自分のものでないように、他の生きもののように、からんころんからんころん、とても澄んで響く。そつと、振りむくと、富士がある。青く燃えて空に浮かんでいる。私は溜息ためいきをつく。維新の志士。鞍馬天狗くらまてんぐ。私は、自分を、それだと思った。ちよつと気取って、ふところ手して歩いた。ずいぶん自分が、いい男のように思われた。ずいぶん歩いた。

(注1) 燐 非金属元素の一つ。うす黄色で、火がつきやすい。

(注2) 鬼火 しまった土地などで青くひとりで燃える火。きつね火。

(注3) 葛 秋の七草の一つ。野山に生えるつる草で、紫色の花が咲く。

(注4) 志士 自分を犠牲にして国のためにつくそうとする志をもった人。

(注5) 鞍馬天狗 京都の鞍馬山に住んでいたと伝えられる天狗。牛若丸に兵法を教えたという。

(注6) ふところ手 両手を着物と胸の間に入れてのこと。



1 ～～～線部①「たのもしさ」、～～～線部②「他愛なく」とありますが、この文章におけるそれぞれの意味として最も適切なものを、ア～エから選びなさい。

- ① たのもしさ
- ② 他愛ない
- ア たくましい様子
イ がんこな様子
ウ 楽しみである様子
エ 裕福である様子
- ア とくに意味がない
イ はりあいがいい
ウ 正体がない
エ つまらない
- ②
- ①

2 【A】・【B】の文章にはどのような富士山の様子が描かれていますか。最も適切なものを、ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ア 思いがけず目にした富士山の神秘的で現実離れた美しさ
イ 時代を超えて変わらない姿を見せる富士山に対する信頼
ウ そこで生きる様々な生物に対する富士山の包容力の大きさ
エ 自分の予想をはるかに超えた壮大な富士山に対する感動
- B
- A

3 仁美さんたちは、この文章で特徴があると感じた表現について話し合っています。次の【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

この文章は、すごくリズムがいいね。句点が多く使われていることと、文末が「た」で終わる文が多いこと、それから、一つ一つの文を見ると、が重ねられているからかな。



それに、富士山を見た「私」の反応や想像もおもしろいね。比喻がとてもユニークで、富士山を見ている「私」の様子が目に浮かぶよ。



(1) 【話し合いの一部】のに当てはまる適切な言葉を書きなさい。

(2) ———線部「富士山を見た『私』の反応や想像もおもしろい」とありますが、あなたは、富士山を見た「私」についてのどのような表現がおもしろいと思いますか。【A】・【B】のうちどちらかを選び、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件 1 には、選んだ文章の記号を書くこと。

条件 2 本文を引用して書くこと。引用する部分にはかぎかっこ「」でくくること。

条件 3 おもしろいと思った理由を明確にして、三文で書くこと。

選んだ文章

--	--	--	--	--	--

レンコン農家で職場体験を行った中村さんは、日本の農業について自分が持った考えをみんなに知らせたいと思いました。次は、中村さんが用意した「レンコン農家の松下さんへのインタビューのまとめ」【インターネット資料の一部】【日本の農業人口の移り変わりを示すグラフ】です。これらを読んで、問いに答えなさい。

【レンコン農家の松下さんへのインタビューのまとめ】

質問 1：会社員をやめてレンコン農家を継ごうと思ったわけ

- ・ 子供の頃から家の手伝いをよくしていてレンコンの植え付けから収穫までの仕事をよく知っていたし、やりがいのある仕事だとずっと思っていたから。
- ・ 親が年をとってきて、レンコン農家を続けるかどうか迷っていた時、それなら自分が継いでもっともっと良質のレンコンを生産しようと、挑戦するような気持ちで決断した。

質問 2：レンコン農家としての苦勞

- ・ 台風の強風で、せっかく大きくなったレンコンの葉がぼろぼろにちぎれてしまうこと……泥の中でいいレンコンが育たないから。
- ・ 秋から冬にかけては、おせち料理で最も需要が多いので、たくさん出荷する。少くも体が辛くてもがんばらなければいけないこと。

質問 3：レンコン農家としての喜び

- ・ 天候が安定し、レンコンに病気や害虫が発生せずに、味がよくて形のよいレンコンがたくさん収穫できたとき。
- ・ 食べた人から「おいしかった」と言ってもらえたとき。
- ・ 直売所で売っているレンコンが全部売れたとき。

質問 4：中学生に望むこと

- ・ 全国第2位の出荷量を誇る徳島の代表的農作物であるレンコンについて知ってほしい。
- ・ 独特の香りとホクホク・シャキシャキの食感で、とてもおいしく、いろいろな食べ方があるので、ぜひたくさん食べてほしい。
- ・ 中学生のうちから、いろいろな仕事を見たり体験したりして、働くことの意義について考えてほしい。

※注1 レンコンは、ハスの地下茎が肥大したもの。泥湿地で育ち、大きな葉が水面上に出る。十月から翌年の三月近年までが旬とされていたが、近年の栽培技術の向上でほぼ一年中収穫できるようになった。

(農林水産省ウェブページより作成)

1 【レンコン農家の松下さんへのインタビューのまとめ】から、松下さんが働くことについて、どんな考えをもっていることがわかりますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

ア 若いときからいろいろな仕事に関心を持ち、体験を通して働くことの意義について考えるのがよい。

イ どんな仕事にも苦勞があるが、その苦勞を乗り越えたときに、働くことの喜びを感じられるものである。

ウ いつももつと上を目指して難しいことに挑戦しながら働くこと、やりがいを感ずることができるとよい。

エ 仕事の内容をよく知ることが最も重要なので、自分のつきたい仕事を早く決めて、多くの情報を集めるのがよい。





人力作業の負担を軽減

農業機械の開発や改良によって、農作業はずいぶん楽になりましたが、まだまだ人力で行う作業がたくさんあります。近年、収穫物の積み下ろしなどの重労働を軽減するため、作業者が体に装着し、体の動きをアシストするアシストスーツの開発が進んでいます。

収穫や運搬は重労働

ミカン産地では、収穫シーズンになると毎日100～200ケースの収穫コンテナをモノレールやトラックに積み込む作業が行われます。農家にとっては腰などへの負担が大きく重労働ですが、この作業は傾斜した畑の中で行われるため、機械化は容易ではありません。それなら、「荷物を持ち上げる人をロボットの力で助けよう」という発想でアシストスーツの開発が始まりました。

モーターの力で荷物の持ち上げをアシスト

開発当初は、体のすべての動きをアシストする全身型のスーツでしたが、農作業を楽にするために必要な機能は何かという研究が進み、荷物を持ち上げるときと、傾斜地を歩くときのアシストに絞られました。その結果、スーツの重さは開発当初約40kgから現時点は6.3kgへとずいぶん軽くなり、装着も容易になりました。

アシストスーツは、腰の部分にある二つのモーターで作業をアシストします。アシストスーツに埋め込まれたマイコンによって、歩き出したときには歩行、荷物を持ち上げようとしたときには腰のアシストを自動で行います。これにより、20kgの荷物を持ち上げる場合の力は10kgですむようになりました。人力で行っている農作業は他にも多くあり、さまざまな作業が楽になるよう、アシストスーツの応用が期待されます。

(農林水産省ウェブページより作成)

※注2 「アシスト」とは、人の仕事を手伝うこと・援助すること。

「アシストスーツ」は、人の体に装着して筋力を補強する機械。



- ア 農作業を助けるさまざまな機械
- イ アシストスーツが軽くなって登場
- ウ ミカンの産地にうれしい知らせ
- エ 農作業の強い味方アシストスーツ

川口さんは、国語の時間に、夏目漱石の作品「吾輩は猫である」を読み、思ったことや考えたことについてグループで話し合いをしています。次の【文章の一部】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章の一部】

「ここまでのあらすじ」中学教師の苦沙弥先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶島で黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、車屋（人力車を引く人）に飼われている乱暴猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶島の中で寝ころびながら、いろいろ雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をさも新しそうにくりかえしたあとで、吾輩に向かって下のごとく質問した。

「おめえはいままでに鼠を何びきとったことがある。」

智識は黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにきまりがよくはなかった。けれども事実は事実で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はとろうとろうと思って、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からびんとつつぽっている長いひげをびりびりとふるわせて、非常に笑った。元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあった、彼の気焰を感じたようにこのどをころ鳴らして謹聴していれば、はなはだ御しやすい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの呼吸のみこんだから、この場合にも、なまじいおのれを弁護してますます形勢を悪くするのも愚である、いっそのこと彼に自分の手柄話をしゃべらしてお茶をにごすにしくはないと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたろう」と、そそのかしてみた。

果然彼は、墻壁の欠所に唸喊してきた。

「たんとでもねえが、三、四十はとつたろう」とは、得意気なる彼の答えであった。彼はなお語をつづけて、「鼠の百や二百は一人でいつでも引き受けるが、いたちってえやつは手に合わねえ。一度いたちに向かつて、ひどい目にあつた。」

「へえ、なるほど」と、あいづちをうつ。

黒は大きな眼をばちつかせて、いう。

「去年の大掃除のときだ。うちの亭主が石灰の袋を持って縁の下へはいこんだら、おめえ、大きいいたちの野郎がめんくらって飛びだしたと思ひねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いたちってけども、なに、鼠のすこし大きいぐれえのものだ。こんちきしようって気で追っかけて、とうとうどぶの中へ追いこんだと思ひねえ。」

「うまくやったね」と喝采してやる。

「ところがおめえ、いざつてえ段になると、やつめ最後っ屁をこきやがった。くせえのくさくねえのつて、それからつてえものはいたちを見るところが胸が悪くならあ。」

彼はここにいたって、あたかも去年の臭気を今なお感ずるごとく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんなでまわした。吾輩も少々気のどくな感じがする。ちつと景気をつけてやろうと思つて、「しかし鼠なら、君にいらまれては百年目だろう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにふとつて色つやがいいのだろう。」

黒のこきげんをとるためのこの質問は、ふしぎにも反対の結果を呈出した。彼は喟然として大息している。

「考げえるとつまらねえ。いくら稼いで鼠をとつたつて——いってえ人間ほどふてえやつは世の

中にいねえぜ。人のとった鼠をみんな取りあげやがって、交番へ持ってゆきあがる。交番じゃ、だれがとったかわからねえから、そのたんびに五銭ずつくれるじゃねえか。うちの亭主なんか、おれのおかげでもう一円五十銭くらいもうけていやがるくせに、ろくなものを食わせたこともありやしねえ。おい、人間でものあ体のいい泥棒だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらいの理屈はわかるとみえて、すこぶるおこったようすで背中を逆だてている。吾輩は少々気味が悪くなったから、いかげんにその場をごまかして、うちへ帰った。

このときから吾輩は、けっして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の子分になって鼠以外のごちそうをあさつてあるくこともしなかった。ごちそうを食うよりも寝ていたほうが気楽でいい。

(夏目漱石「吾輩は猫である(上)」による。)

気焰キエツ燃え上がるような盛んな意気。

御しやすいミヤシイニ思うように扱いやすい。

お茶をにごすにしくはないニごまかすのが最もよい。

果然彼は、墙壁の欠所に呐喊してきたニここでは、予想どおり「黒」が誘いに勢い込んで乗ってきた、ということ。

喟然として大息してニため息をついて嘆いて。

交番へ持ってゆきあがるニ当時は、公衆衛生上、鼠退治を奨励し、とった鼠を交番で買い上げた。

【話し合いの一部】

川口 「吾輩は猫である」は、タイトルは知っていましたが、今回読んでみて、とてもおもしろいと思いました。

山本 主人公が猫で、猫の視点で書かれているのがおもしろいですね。自分のことを「吾輩」というのも、少し偉えらそうな感じがして、この猫にびったり合っています。

水田 長く読み継がれている作品だというのが、私もよく分かりました。

青木 インターネット上にたくさんさんのレビューがあり、現代でも多くの人に読まれているようです。ね。「滑稽」や「ユーモア」というコメントがありました。この場面でもそれが感じられますよ。

山本 この場面では、「吾輩」と「黒」の関係から、それらが感じられます。猫の世界も人間の世界と同じだと思われ、読みながらくすくすと笑ってしまいました。

川口 「吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの呼吸をのみこんだ」という表現から、「吾輩」は相手の性格を素早く把握し、それに合わせてうまく関わっているのが分かります。

青木 「黒」が自分の手柄話をしゃべっているのを聞いているときの「吾輩」の様子が、『へえ、なるほど』と、あいづちをうつ。「A」「B」と表現されていますが、私も、「吾輩」は「黒」をうまく扱う要領を心得ていると思いました。

水田 「吾輩」に乗せられていることもしらず、得意気にしゃべっている「黒」の姿が浮かんできます。

川口 まるで人間同士のやりとりを見ているようです。

1 【文章の一部】の——線部「呼吸をのみこんだ」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

- ア コツをつかんだ。
- イ 息を吸い込んだ。
- ウ ため息を抑えた。
- エ 発言を我慢した。

2 【話し合いの一部】の A ・ B に当てはまる言葉を、【文章の一部】の中から探し、一文で抜き出さない。

A	B
---	---

3 【話し合いの一部】の~~~~線部『吾輩』と『黒』の関係とありますが、【文章の一部】には、「吾輩」が「黒」を評価している表現があります。「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

引用するとは、どういうことでしたか。引用するとき気を付けることは、本文中の言葉は省略したり書き換えたりにすることなく、かぎかっこ「」でくくって書くということでしたね。



よしはさんの班では文学作品の冒頭部分を読んで、感じたことについて話し合っています。
あとの問いに答えなさい。

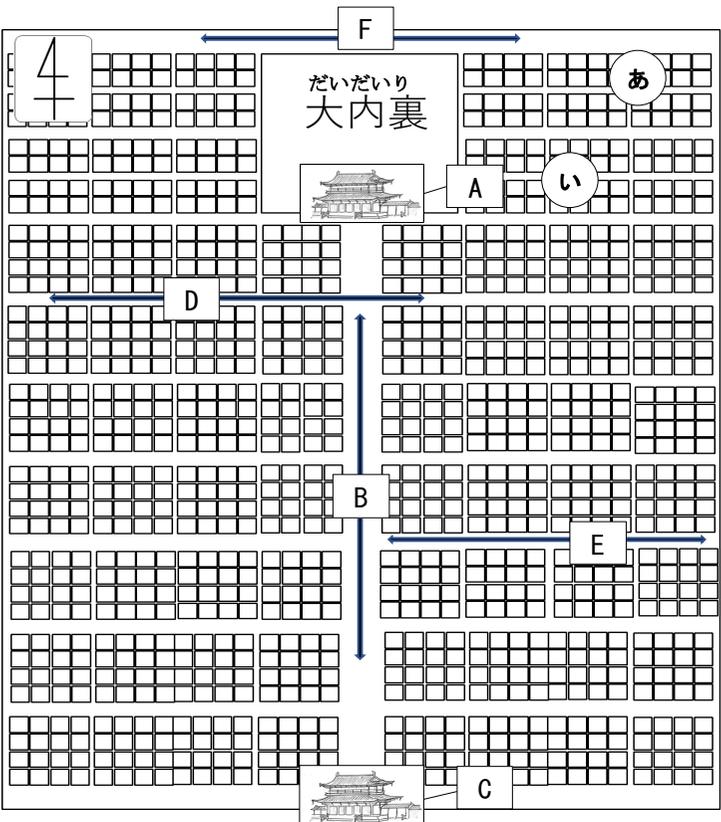
【文学作品の一部】

ある日の暮れ方のことである。一人の下人げにんが、羅生門の下で雨やみを待っていた。
広い門の下には、この男のほかに誰もいない。ただ、所々丹塗にぬりの剥はげた、大きな円柱まるばしらに、
蟋蟀きりぎりすが一匹とまっている。羅生門が、朱雀大路すざくおおじにある以上は、この男のほかに、雨やみを
する市女笠いちめがさや揉鳥帽子もみえぼしが、もう二、三人はありそうなものである。それが、この男のほかに
は誰もいない。

【よしはさんのノートの一部】

場所	羅生門の下	読者がつイメージ
時間(いつ)	ウ	・寂しい
登場人物	下人	・冷たい
目的	エ	・困っている

〈平安中期の平安京の町並み〉



調べた言葉

蟋蟀きりぎりす (きりぎりす)
コオロギの古称。
平安時代は、秋の虫である
コオロギをキリギリスと呼
んでいた。

市女笠いちめがさ (いちめがさ)
竹皮で編んだ笠。



揉鳥帽子もみえぼし (もみえぼし)
もんで柔らかく作った鳥帽子。



【話し合いの一部】

よしは この作品は、芥川龍之介あぐたがわりゆうのすけの「羅生門」という作品です。作品ができた時代は、
大正四年です。古典の今昔物語をもとに、作品を書き上げたそうです。

あかり 今昔物語に同じ話が出てくるのですか。

よしは 全く同じではありませんが、今昔物語の「羅城門」をもとに作られたそうです。

この「平安中期の平安京の町並み」の地図を見てください。

あかり 碁盤ごばんの目のようでおもしろいですね。

よしは はい。歴史上の人物の屋敷やしきがあったのですよ。例えば、「あ」の辺りには藤原道

一郎さんたちは、「徒然草」の二つの章段を読み比べ、兼好法師の友人観について話し合っています。次の古文【A】・【B】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

友とするにわるき者、七つあり。一つには、高くやんごとなき人。二つには、よくない若き人。三つには、病なく身強き人。四つには、酒を好む人。五つには、たけく勇める兵。六つには、虚言する人。七つには欲ふかき人。
無病で健康な
うそをつく
物をくれる
 よき友三つあり。一つには物くるる友。二つには医師。三つには智慧ある友。
身分が高くて尊い
くすし
 (百十七段)

【B】

同じ心ならん人と、しめやかに物語して、をかしきことも、世のはかなき事
本心に気の合った しんみりと語り合つて おもしろい ちよつとした世間話
 も、うらなくいひ慰まんこそうれしかるべきに、さる人あるまじければ、
遠慮なく言い合つて心を慰めたなら いるはずがないから
 つゆ違はざらんと向ひるたらんは、ひとりあるこちやせん。
(相手の気持ちに)少しも逆らわないように 一人ぼっちのような
 互いに言はんほどの事をば、「げに」と聞くかひあるものから、いささか違ふ
言おうとする なるほど 聞く価値のあるものもあれば、 (考えが)多少
 所もあらん人こそ、「我はさやは思ふ」など争ひ憎み、「さるから、さぞ」とも
自分はそうは思わない 議論になつて そうだから そうなのだ
 うち語らばば、つれづれ慰まめと思へど、げには、少しかこつかたも、我と
語ることもできれば 心のさびしさもなぐさむだろう 本当のところは 不平にいたるまで
 等しからざらん人は、大方のよしなしごと言はむほどこそあらめ、まめやか
びつたりしない どうでもよいことを話し合っている間はいいとしても 真実の
 心の友には、はるかにへだたる所のありぬべきぞ、わびしきや。
大きな距離があるものだとすることは
 (十二段)

【話し合いの一部】

一郎 兼好法師の友人観について、気付いたことを発表してください。

好美

【A】には、兼好法師の友人判定の基準ともいえる内容が書かれています。「わるき者」として、「虚言する人」や「欲ふかき人」を挙げていることはすぐに納得できるのですが、それ以外がなぜよくないのか分かりません。

二郎

そうですね。「若き人」や「病なく身強き人」、「たけく勇める武士」がよくないというのは、不思議に思います。

あきさんの班は、古文とその口語訳を読んで、その作品が書かれた時代の様子を知るために、話し合いをしています。【古文の一部】・【口語訳】・【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【古文の一部】

家の作りやうは——「徒然草」から

家の作りやうは、夏をむねとすべし。冬は、いかなる所にも住まる。暑きころわろき住居は、堪へがたきことなり。

深き水は、涼しげなし。浅くて流れたる、はるかに涼し。細かなる物を見るに、遣戸は蔀の間よりも明かし。天井の高きは、冬寒く、灯暗し。造作は、用なき所を作りたる、見るもおもしろく、万の用にも立ちてよしとぞ、人の定め合ひはべりし。

〔徒然草全注釈 上巻〕より。一部省略等がある。〕

【口語訳】

家の作り方は、夏を中心に考えるのがよい。冬はどんな所にも住める。暑い時期に住みにくい住居は、我慢できないものである。

やり水（庭に水を引き入れて作った細い流れ）については、底が深いのは涼しそうではない。浅くて流れているほうがずっと涼しい感じがする。細かい物を見るときには、やり戸（左右に開閉する引き戸）のある部屋のほうが、しとみ（上下に開閉する格子を付けた戸）のある部屋よりも明るい。また、天井が高い部屋は、冬の間寒く、夜は灯火が暗い。建築は、使い道のない部屋を作っておくのが、見た目も風流で、いろいろなことに役立つてよいものだと、ある人たちが論じ合って決めたのでした。

【話し合いの一部】

あきの 徒然草の作者 **A** の生きた **B** 時代は、今とは随分違っていたでしょうね。

よしは 今のように、クーラーや扇風機のない時代、夏は暑かったでしょうね。

はるな 服装も着物だから、着る物で温度を調整することも難しかったと思います。

あきの だから、建物のつくりを工夫したのでしょうか。

はるな はい。「やり水」という庭に水を引き入れて作った水の流れは、 **C** と

作者は書いていますね。

あきの 「天井が高い部屋は、冬の間寒く、夜は灯火が暗い」とありますが、なぜ明かりが暗いと言えるのだと思いますか。

よしは そうですね。今は、天井等に電気がついていて明るく照らすことができます。しかし、この時代は床に明かりが置かれていたから、 **D** ということが理由だと思っています。

あきの なるほど。では、使い道のない部屋をつくっておくことがよいと書かれています。これはどうしてだと思いますか。

よしは 今も、余分に部屋があると、いろいろと使えますね。例えば、お客さんに泊まってもらったり、ちよつとした物置場にしたりすることもできます。

はるな 「やり水」「遣り戸」「蔀」など、どのようなものだったのか、もっと知りたいですね。

1 【話し合いの一部】の **A** ・ **B** に当てはまる言葉を漢字で書きなさい。

A

B

時代

2 【話し合いの一部】の **C** に当てはまる言葉を【口語訳】の言葉を用いて書きなさい。ただし、「よりも」という形になるように、十字以上、二十字以内で書くこと。

20	

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10

3 【話し合いの一部】の **D** に当てはまる言葉を、十字以上、二十字以内で書きなさい。

20	

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10

問題のしくみ

「話すこと・聞くこと」聞き手を意識して発表をする問題
(学校紹介のスピーチをする)

スピーチで大切なことは、「相手(対象)が何を求めているか」と「自分は何を伝えたいか(伝えなければならぬか)」を明らかにすることです。この問題では、「相手が求めているもの」として「部活動のこと」、「自分が伝えたいこと」として、「ボランティア活動とあいさつ運動」と「学習と部活動との両立」であることがわかります。それらの内容とスピーチ原稿を作成し、伝えるための内容を、相手を意識しながら考えることが大切です。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

1

1 全校ボランティア活動

2

(2) (1)

(例) **A**

ア

B

ウ

(例) **A**

ア

B

生徒会では、あいさつ運動と全校ボランティア活動を行っています。ボランティア活動は、五つのグループがあり三学年が協力して活動しています。週に一度の活動を継続して実施し、とても充実しています。(九十四字)

* 同様の内容が書いていけばよい。

* 生徒会の二つの取り組みと特色ある活動について書いていること。

(例) **B**

学習と部活動を両立するには、授業や部活動のそれぞれの場面で気持ちを切り換え集中することが大切です。(四十九字)

* 同様の内容が書いていけばよい。

* 学習と部活動の両立について書いていること。

問題について

「話すこと・聞くこと」効果的なインタビューをする問題
(県大会出場について取材する)

取材などのために相手に話を聞くインタビューは、聞き手と話し手の言葉のやり取りによつて深まっています。インタビューで大切なことは、相手の話によく耳を傾けることです。そうすることで、聞いている自分自身にも、もつと知りたいということが生まれてくるのです。また、インタビューされる人の立場に立って、質問を見直してみることも必要です。いちばん聞きたいことを中心に、流れができるように意識してやってみましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



2

1 イ

2 ア・エ・カ

3 (例)

(石田さんが)

チームをまとめていく責任を感じるのは、どのようなときですか

(二十九字)

* 同様の内容が書けていればよい。

4

(例・Aを選んだ場合)

Aは、野球部がチームとして努力したことが強調されている。取材から、チームが一つにまとまることの大切さが伝わってきたので、この見出しを選んだ。

(七十字)

(例・Bを選んだ場合)

Bは、「悲願」という言葉から、野球部の県大会出場にかける思いが伝わってきた。取材にも「今年こそは」という思いが述べられていたので、この見出しを選んだ。

(七十五字)

(例・Cを選んだ場合)

Cからは、この記事がインタビューで取材したことをもとに書かれていることが分かる。また、県大会への期待を込める意味でも、この見出しがよいと思う。

(七十一字)

* これ以外の内容についても、選んだ見出しのよさが書けていればよい。

問題について

「話すこと・聞くこと」立場を決めて討論する問題
(読書に対する意見を述べる)

立場を決めて話し合ったり、書いたりする場合には、なぜそう考えるのかという根拠を、はっきり示すようにしましょう。また、その根拠には説得力があるか、矛盾がないかなどを吟味する習慣をつけましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

3

1
エ

- 2 (すぐれた本は、) 筆者が書いていることは一つなのに、読み返すたびに新しい発見がある。

- 3 たくさんの本を読むことによって、さまざまな考えにふれることができる。
* 同様の内容が書けていればよい。

- 4 (例) 私は、夕子さんに反論します。

一冊の本では、一人の人の考え方に会うことしかできません。たくさんの本を読むことによって、多くの人の幅広い考え方を知ることができます。(六十九字)

- * 同様の内容が書けていればよい。
- * 敬体であること。



問題について

「話すこと・聞くこと」目的に応じて話し合う問題
(リーフレットの構成を考える)

意見を出し合い一つにまとめていく話し合いにおいては、話し手の意図を考えながら聞き、話題に沿って話し合いを進めていくことが大切です。そのためには、目的意識を共有し、発言の共通点や相違点を整理したり、発言の理由を確認したりしながら進めていくようにしましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



4

1

学

エ

泉

イ

2

(例)

a

学校新聞とよく似たレイアウトになる

b

校舎の案内図を大きくわかりやすくする

* 同様の内容が書いていればよい。

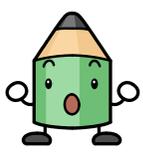
問題について

「話すこと・聞くこと」調べたことを発表する問題
(関心のある阿波弁について報告する)

伝えたい内容に説得力をもたせ、聞き手に的確に伝えるためには、様々な資料を集し、そこから自分が必要としている情報を取捨選択したり加工したりすることが大切です。目的に応じて、どのような理由や根拠を基にして書いたり話したりするのが効果的であるかを考えて資料を作成するようにしましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



5

1
ウ

- 2 若い人ほど阿波弁を使わないということに説得力をもたせる（という点でよくなる。）

- 3 選んだ資料 イ
理由（例）

過去と現在の使用状況を比較することによって、どのような言葉が消えつつあるかを知ることができると考えられるから。

(五十五字)

* 同様の内容が書ければよい。

問題について

「話すこと・聞くこと」資料を作成して発表する問題
(学校紹介のプレゼンテーションをする)

説明や発表などの言語活動を行う際は、自分の意見や考えがより効果的に伝わるよう話の展開や構成を工夫することが大切です。

例えば、発表に使用するために作成した資料を見直し、聞き手の立場に立って組み替えてみたり、一部の資料を作成し直したりすることが話の構成をよりよくすることになります。その際、発表のリハーサルを見合ったり、映像などに記録した発表の様子を見直したりする学習活動を取り入れるようにしましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



6

1 イ

2 (例) 時間の使い方の工夫

* 同様の内容が書けていればよい。

3 (1) めぐみ(さん)

(2) 2 (の後)

(理由)(例)

2で、「部活動の種類」を紹介した後、実際の活動の様子が入るので分かりやすく、3の、部活動をやっている「よいこと・大変なこと」を活動をもとにイメージすることができから。

* 同様の内容が書けていればよい。

* 2と3の【資料】に触れて説明していること。

4 (最後に六年生へのメッセージを伝えます。)

(例) 部活動をやっていると、よいことばかりでなく、大変なこともあります。しかし、それを工夫や努力をして乗り越えることにより、心が強くなり、充実した毎日になります。六年生のみなさんの入部を待っています。

(九十七字)

* 同様の内容が書けていればよい。

* なぜ、「部活動は、心を強くし、毎日を充実させる」のかに触れて、六年生に呼びかけるかたちになっていること。

問題について

「話すこと・聞くこと」インタビューしたことを報告する問題
(職業について取材する)

インタビューをする前には、下調べをして聞きたい事柄を整理し、質問事項を準備することが大切です。また、相手の話を的確に聞き、話の展開に即して質問を変えるなど、臨機応変に対応できるように、実際のインタビューを行う前に練習してみましよう。

実際のインタビューにおいては、視線、表情、うなずき、身振り手振りなど、言葉以外の表現も重要な役割を果たしています。これらのことにも意識を向けて活動するようにしましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



7 1 されて

2 心がけているのは、どのようなことですか(十九字)

3 ア

4 A 日ごろの地道な努力がなければ一人前にはなれない

* 【原稿の一部】の「はなやかな仕事」に対して、「イメージを百八十度変える言葉」という部分から、この言葉を抜き出す。

B (例)

ラジオの前にいる人が求めている情報は何かを考え、正確に分かりやすく伝えること(三十八字)

* 同様の内容が書いていればよい。
* 4番目の山田さんの発言、「そうですね。私は、情報を正確に、聞き手に分かりやすく伝えることを……」という発言の内容を踏まえ、字数の条件を満たして書いていくこと。

問題について

「話すこと・聞くこと」資料と関連付けて話し合う問題
(卒業文集の写真を選ぶ)

話し合いを行う際には、その目的を意識して参加することが求められます。話が目的に沿って展開しているかに注意して聞いたり、考えや意図を明確にして話したりすることが大切です。話し合いの内容をもとに自分の考えを書く際には、話し合いの具体的な内容を取り上げ、話題に対する自分の考えを明確に書くようにしましょう。その際、どのように書けば分かりやすいかということについて交流することも取り入れてみましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



8

1
エ

2 (例)

友だちと一緒にジャンプしている構図から、友だちと離れる寂しさを乗り越え、思い出を胸にがんばっていきましょうという気持ちを感じられる(六十二字)

(のでふさわしいと考えている。)

* 同様の内容が書いていけばよい。

* 構図に触れ、この写真から読み取れることについて書いていること。

* 句点を書いているのは許容。

3 (例) (私たちは、表紙の写真として【写真B】を選びました。それは、)

過去から未来へと続く一本の道のように、先輩が積み重ねてきたことを、私たちが確実に未来に受け継いでいくということを伝えたいと思うからです。

(六十八字)

* 同様の内容が書いていけばよい。

* 「それは、」に対応した文末になっていること。

* 【話し合いの一部】を踏まえ、先輩に伝えたいメッセージを明らかにして、写真と関連づけて書いていること。

* 常体は許容。

問題について

「話すこと・聞くこと」司会の役割を考える問題
(合唱コンクールへの取り組みを話し合う)

話し合いを行う際には、自分の考えを参加者に分かりやすく伝えることができるよう立場を明確にするとともに、考えの理由を明らかにして話すことが大切です。

話し合いにおける司会の役割には、主に次のようなものがあります。

- 1 話し合いの目的に沿って進行すること
- 2 互いの発言の共通点や相違点を明確にすること
特に相違点を明確にすることは、議論を焦点化するうえで大切である
- 3 結論に至るまでの段階を踏まえて、時間配分等も含めた見通しをもって進行すること

話し合いの目的や形態に応じて、こうした司会の役割を意識しながら話し合いを進めていったり振り返ったりしてみましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

9

1 エ

2 ウ

3 クラスのまとまりを強くする

4 (例)

週に何回か全員で練習する日を決めて、あとの日は練習したい人がする

(三十二字)

* 同様の内容が書けていればよい。

5

(例)

私は、中山さんの意見に賛成です。

合唱はクラス全員で取り組むので、みんなで時間の都合をつけながら毎日練習することがまとまりにつながってくると思うからです。

(六十字)

* 同様の内容が書けていればよい。

(例)

私は、大川さんの意見に賛成です。

毎日練習すると、後に予定のある人は余裕がなくなり、合唱に集中できなくなって、クラスのまとまりがなくなってくるからです。

(五十九字)

* 同様の内容が書けていればよい。

問題について

「話すこと・聞くこと」司会の役割を考える問題
(あいさつへの取り組みを話し合う)

話し合いを行う際には、自分の考えを参加者に分かりやすく伝えることができるよう立場を明確にするとともに、考えの理由を明らかにして話すことが大切です。

話し合いにおける司会の役割には、主に次のようなものがあります。

- ・話し合いの目的を明確にすること
- ・参加者それぞれに発言の機会を与えること
- ・必要に応じて発言の内容を確認したり、不足している情報を聞き出したりすること
- ・話し手や聞き手の様子を見て、どのように話し合いを進めるかを判断すること
- ・話し合いの内容を整理したり、結論を確認したりすること

話し合いの目的や形態に応じて、こうした司会の役割を意識しながら話し合いを進めていったり振り返ったりしてみましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

10

1 ア

2 (例) それぞれの意見に対して質問はありませんか (二十字)

3 (例) よいあいさつができた人やクラスを表彰する

* 「表彰することにより競い合わせる」という内容でもよい。

4 (例) 「よいあいさつモデル」を決めた(ので、)めざす姿がはっきりした(ことがよくなった)。

クラス対抗にした(ので、)競争しながら取り組める(ことがよくなった)。

* 同様の内容が書いていればよい。

問題について

「話すこと・聞くこと」自分の考えが分かりやすく伝わるように、工夫して話す問題（スピーチをする）

スピーチなどを行う際には、話し手は、自分の伝えたいことを聞き手に分かりやすく伝えるために、場の状況や聞き手の興味・関心、情報量などを考慮しながら、聞き手に応じた語句を選択したり、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣いなどに注意したりして話すことが大切です。また、聞き手のうなずきや表情にも注意し、話の受け止め方や理解の状況を捉え、聞き手に自分の考えが十分伝わっていないと感じられたときには、分かりやすい語句に言い換えたり内容を補足したりすることも重要です。聞き手は、話の展開に注意しながら内容を聞き取り、互いの考えを比較したり、聞き取った内容や表現の仕方を評価したりすることが大切です。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

11

1 (例1) 皆さん、音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。
(例2) 音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思います。皆さんもそう
思いませんか。

2 仲間

3 (例1) 「音楽は、人に感動を与えることができるかとあらためて思いました。」という
部分が「一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。」

(例2) 「音楽は、人に感動を与えることができるかとあらためて思いました。」の部分
の印象を強めるために、聞いている人たちを見渡しながら話す。

(例3) 「これからもたくさんの人に、心を動かす美しい音楽を届けたいと思います。」
という部分の語調を強めて、伝えたい思いを強調したい。

※解答する際の三つのポイントを確認しよう！

・【大島さんのスピーチ】の中から、「聞いている人が、自然と笑顔になれる
ような、そんな音楽を演奏したいと思っています。」という部分以外を具
体的に取り上げて書く（——部分）

・取り上げた部分をどのように工夫して話すのかについて、具体的に書く
（~~~~部分）

工夫とは、①言葉の抑揚や強弱、間の取り方など音声での表現の仕方に着目
した工夫

②視線の方向など、①以外の話し方の工夫

・取り上げた部分について、工夫して話す意図（どうしてそのように工夫するの
か）を書く（——部分）

「令和五年度 徳島県学力ステップアップテスト問題（第二学年）」より作成

問題について

「話すこと・聞くこと」聞き取ったことを基に効果的に質問し、自分の考えをまとめる問題（インタビューをする）

情報を集めるためにインタビューをするとは、目的をもって特定の相手に質問し、必要な情報を聞き出すことです。そのため、聞きたいことを事前に整理するなどして、知りたいことを明確にして臨むことが重要です。また、実際にインタビューをする場面では、話し手の意図を考えながら聞き、必要に応じて相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりすることが大切です。聞き取ったことを基に、自分の考えをまとめる際には、聞き取った話の内容を整理し、話し手と自分の考えとを比較したり、関連付けたりできるようにすることが重要です。そのためには、何のためにどのような状況で話を聞いているのかを意識し、必要に応じて重要な情報を書き留めるなど、話の内容を正確に理解できるようにしましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

12

1 エ
2 ウ
3 イ
4 4

（例1） 山野さんのお話をうかがい、自分とは異なるものの見方や考え方を生かすことの大切さが分かりました。私も、社会で働くときには、仲間と話し合うことを大切にしようと思いました。

（例2） 「お客様のことを第一に考えています。」「必要な努力は惜しみません。」「お客様の声に少しでも応えたいです」という言葉が印象に残りました。誰かの役に立ちたいという思いは、責任感をもって仕事をすることにつながると考えました。

（例3） 山野さんのお話から、社会で働く上で、感謝の気持ちを忘れないことが大切だと感じました。私も、将来、仕事をすることは、多くの人に支えられていることを意識して、周りの人との関わりを大切にしたいと思っています。

※解答する際の二つのポイントを確認しよう！

- ・「インタビューの様子」から、山野さんの話の内容を具体的に取り上げて書く部分
- ・取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書く部分



「令和六年度 徳島県学力ステップアップテスト問題（第二学年）」より作成

問題について

「書くこと」案内文を書く問題
(学習発表会の案内状を書く)

案内文など、さまざまな文章を書く機会をつくりましょう。その際には、だれに書くのか(相手意識)、何のために書くのか(目的意識)を明確にして書く習慣を付けましょう。また、ひな形(モデル)を見て書くだけでなく、どのような項目が必要かを考えたり、メモをもとにどのような書き方がふさわしいかを考えたりするようにしましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。



解答

13 1 学習発表会を実施する場所

2 (例)

私たちの班は、あせび町内会の「住民の心をつなぐ取り組み」から考えたことについて発表します。私たちの発表に対して、ご助言をいただきましたと思っておりますので、ぜひお越しくください。(八十六字)

- * 同様の内容が書けていればよい。
- * 敬体になっていること。

問題について

「書くこと」話し合いと関連付けて書く問題
(職場体験のお礼状を書く)

手紙には長い間、多くの人々によって使われてきた慣用的な語句や言い回しがあります。それらについて知り、自分の表現に取り入れることが、言語文化に親しむ上では重要です。小学校においても、手紙の基本的な形式については学習してきましたが、中学校ではそのことを踏まえて、手紙の形式がもつ意味を考え、頭語、結語、時候のあいさつなどを意識しながら、様々な機会をとらえて手紙を書いてみましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



14

1

A

拝啓

B

敬具

2
ウ

3

(例)

先生方が子どもの目線に立ち、よさを伸ばしていこうとされていることに感動しました。園長先生の「未来の希望を育てる」お話や、私たちのことを「希望」と言ってくださったことは、うれしくて印象に残りました。(九十八字)

- * 同様の内容が書けていればよい。
- * 感動したことと「未来の希望」の話に触れていること。
- * 二文で書いていること。

問題について

「書くこと」自分の考えを論理的に書く問題
(標語を批評する文章を書く)

論理的な文章を書くためには、根拠を明確にして自分の考えを述べることが大切です。本問では、生徒が作成した標語について、伝えたい事柄や表現の工夫とその効果を捉えたいので、選択した標語について、根拠を明確にして自分の考えを書くことを目的としました。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

15

- 1 ア 地域の輪
- イ つながる広がる

2 Aの標語を選んだ場合

(例)

応募条件①には「地域の人々とのつながりを印象付けるもの。」と示されている。Aの標語ではそれを「地域の輪」という比喻表現で表したり、「つながる広がる」という言葉で表現したりして、学校と地域を一つにしようという思いが伝わってくるから。

(一一七字)

Bの標語を選んだ場合

(例)

Bの標語は、募集要項の目的にある「地域清掃活動」と「あいさつ運動」という取り組みを、「街も気持ちも クリーンに」という言葉で表現している。この表現は、応募条件にある「これまでの生徒会の活動と関連付けるもの。」も満たしていると思うから。

(一一七字)

- * 同様の内容が書いていけばよい。
- * 選んだ標語の特徴に触れながら、【募集要項】の目的や応募条件の内容を根拠に標語を選んだ理由が書けていること。

問題のしくみ

「書くこと」 情報を読み取り根拠を明確にして書く問題

(意見文を書き直す)

情報が、自分の伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかを検討した上で、互いに読み合いアドバイスを申し合うことは大切です。よい点や改善点について交流することを通して、自分の文章をもう一度推敲することと、情報を読み取り根拠を明確にして書くことの力を身に付けることをねらいとした問題です。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

16

1 便利

2 (例)

(また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、)

「必要なものが近所で手に入る」という点に着目している人が七十二パーセントいる。実際に、私も足りなくなったり急に必要になったりした文房具などを近所の店に買いに行くことがある。このようなことも、地域の店の魅力であると考える。

(一一〇字)

* 同様の内容が書けていればよい。

* グラフから読み取ったことを数値で表していること。

* 「必要なものが近所で手に入る」ことの具体的説明が書けていること。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の問題を活用した
授業アイデア例より作成

問題について

「書くこと」書いた文章の表現を考える問題
(枕草子をまねて書いた随筆を修正する)

文章を書く際には、伝えたいことが読み手に明確に伝わっているかを意識することが大切です。取り上げた材料は内容にふさわしいものか、表現の仕方はどうかということを考えて推敲する習慣を付けるようにしましょう。その際、書いた文章を読み合い、気付いたことを交流することも取り入れてみましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。



解答

17

1 ウ

2 一日の始まりにエールを送る

3 (例) ・具体的な声や音を表す言葉を入れた(ので、) その場にいるように感じられる(ところがよくなった)。
・お茶の部分をけずった(ので、) 部活動への思いが強調される(ところがよくなった)。

* 同様の内容が書けていればよい。

問題について

「書くこと」根拠を明確にして書く問題
(浮世絵の鑑賞文を書く)

鑑賞文を書くときには、ただ「よかった」「感動した」「すばらしかった」という言葉を並べるだけではなく、どこが、なぜいいのかということを具体的に書くことが大切です。その際、「印象」や「構成」「対象や素材」「色彩」「音」などの観点を決め、「この作品のこういうところからこんな魅力を感じた。」というように、根拠を明確にして書くようにしましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



18

1 a 巨大な波（うねる巨大な波、波も可）

b 富士山

c 白（真っ白も可）

d くだけ散る

2 (例) どっしりとして動かない（姿）

* 同様の内容が書けていればよい。

3 (例) この絵の迫力は、

画面手前に巨大な波を、遠くに小さく富士山を描いた構図と、それを強調する色彩にある。二つを対比することによって空間的な広がりを感じさせ、巨大な波に引きつけられた視線は、延長線上にある富士山に導かれる。
(九十九字)

* 同様の内容が書けていればよい。

* 構図、色彩など、波と富士山との「対比」に触れ、第四段落の内容（富

士山の存在）に続く内容になっていること。

問題について

「書くこと」資料を関連付けて自分の考えを書く問題
(パンフレットを作る)

伝えたい内容や自分の考えについて、根拠を明確にして書くためには、複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすることが大切です。得た情報を既に持っている知識や経験、感情に統合したり、新しい問いや仮説を立てたりして、自分の考えを検証し、深めることも重要になります。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

19

1 ア

2 (例) a

なぜ、うま味を上手に使うことが動物性油脂の少ない料理につながるのか。
(三十四字)

b

インターネットで「和食 うま味」のキーワードで検索をする。(二十八字)

(例)

a

和食と関わりのある地域の年中行事には、どのようなものがあるのか。
(三十二字)

b

メールや電話で地域の料理研究家に地域の行事食について問い合わせる。
(三十三字)

(例)

a

どうすれば季節感を生かした和食を楽しむことができるのか。(二十八字)

b

学校図書館で調理や栄養に関する本や雑誌を探し、関連する記事を読む。
(三十三字)

* a

さらに詳しく説明したいことを、「なぜ」、「どのような」、「どのように」、「どのよう」、「どうすれば」という言葉のいずれかを使って書いていること。

b さらに詳しく説明したいこととして挙げたことを調べる方法として妥当であること。

問題について

「書くこと」自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く問題
(意見文を書く)

意見文を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にすることが大切です。そのためには、まず、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめる必要があります。その上で、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くことが重要です。根拠を記述するに当たっては、根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用することなどが考えられます。また、分かりやすい文章にするために、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことも大切です。その際、読み手は、書き手の目的と意図を理解した上で、単なる印象ではなく、具体的な記述を取り上げて助言などを行うことが重要です。

- 言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

20

- 1 (例) (なぜなら,) 海洋プラスチックごみの内訳を見ると、レジ袋が全体に占める割合は、約10パーセントにすぎないことが分かるからだ。

※解答する際の三つのポイントを確認しよう!

- ・【環境省の資料】から分かることを書く。
- ・書き出しが、「なぜなら、」になっているので、「～から」という表現を使う。
- ・【岡さんの意見文の下書き】の文末は、常体(だ・である)で統一されているので、常体にする。

2 ウ

- 3 (例) 内閣府のウェブページには、「世界経済フォーラムの報告書によると、今後も海に流れ込むプラスチックごみが増えれば、2050年には海のプラスチックごみは魚の量を上回ると予測されています。」とある。

※解答する際の二つのポイントを確認しよう!

- ・【内閣府のウェブページの一部】から必要な情報を引用して書く。

引用するときに気をつけることは、資料中の言葉は省略したり書き換えたりすることなく、かぎかっこ(「 」)でくくって書くということでしたね。出典を明示することも必要ですね。



- ・文末は常体(だ・である)にする。

「令和5年度 徳島県学カステップアップテスト問題(第2学年)」より作成

問題について

「読むこと」話し合いと関連付けて読む問題
(宮澤賢治の詩を読む)

文学作品を読むときには、その作品全体の印象や内容をとらえるだけでなく、それほどのような言葉や表現によるのかを、しっかり考えるようにしましょう。また、感じたことを交流することにより、言葉の豊かさや言葉の世界の広がりを知ることができます。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

21

1 春

- 2 (例) 音の大きさを強調していると思います。

* 同様の内容が書いていればよい。

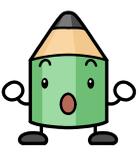
- 3 (例) (「にぎやか」というのは、)

梢の雪が地面の雪に落ちる大きな音が何度も何度も聞こえてくることをいっているのです。そして、その「あしおと」が「わたくし」の心を「あかるく」させているのだと思います。(八十二字)

* 同様の内容が書いていればよい。

* 雪の落ちる音に触れ、「あかるく」なる「わたくし」の心について説明していること。

* 常体は許容。



問題について

「読むこと」情報を整理して読む問題
(ハンバーグの作り方を説明する)

さまざまな文章や資料を読む場合には、複数のものを比較して、共通点や相違点を整理したり、目的に合うようにまとめ直したりするとよいでしょう。その際、メモなどを活用して、どのようにまとめれば分かりやすいかを考えるようにしましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



22

1 エ

2 C

3 粘りけが出るまで

4 (例) ハンバーグを焼くときに、なぜ中央を少しくぼませるのか(という疑問)
* 同様の内容が書いていればよい。

問題について

「読むこと」複数の資料を関連付けて読む問題
(うず潮について調べる)

社会生活では、様々な資料が作成されています。自分の目的やテーマに合う資料を探したり選んだりする学習では、複数の資料を比べて読み、それが必要なものか、目的に合っているかどうかを考えるようにすることが大切です。その際、関連する複数の情報の共通点や相違点をまとめるなど、情報を整理してみるといいでしょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

23

- 1 ア 大きさ
イ 速さ

2 エ

3

ウ 激しい海水の流れ

* 「激しい潮流」も可。

エ 鳴門海峡独特の地形

* 「鳴門海峡」はなくても可。

4

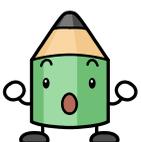
(例) (鳴門海峡には、)

幅が一、三メートルと狭く、中央部は深くなるといふ地形の特徴があります。そこに、潮の満ち引きによってできた激しい潮流が流れ込み、中央部を流れる速い流れと、両岸の遅い流れとの間で速度差ができる

(九十四字)

(ことにより、うず潮が発生します。)

* 同様の内容が書けていればよい。



問題にひらく

「読むこと」 文学的文章を読み比べる問題 （「富嶽百景」を読む）

読んでいる文章に分からない語句があった場合、前後の文章とのつながりや漢字の意味を手掛かりに語句の意味を推測し、それを文脈に戻すことで文章に書かれている内容を大筋でつかむことができるようになることが大切です。そのためにも、日ごろから辞書を引いて意味を確かめる習慣を身に付けるようにしましょう。

文学的文章を読むことにおいては、内容だけでなく、表現の仕方についても取り上げ、読んで考えたことについて意見を交流し、互いの考えを深める学習活動を取り入れるようにしましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



24

1 ① ア

② ウ

2 A エ

B ア

3 (1) 短い文（短文）

(2) (例)

A

予想を超えて倍も高いところにあつた頂を見て、「やっていやがる」と思い、「へんにくすぐったく、げらげら笑つた」というところ。いい意味で予想を裏切られると、そんな気持ちになるのかなと思つたからです。また、作者の愉快でたまらない気持ちがまっすぐに伝わってきたからです。

(例)

B

月光に青く輝く富士山を見ているうちに、自分のことを「いい男のように」思い、「ちよつと気取つて、ふところ手して歩いた」というところです。富士には人を不思議な世界に引き込む魅力があるのかなと思つたからです。また、青い富士の描写がとても美しく心に残つたからです。

* これ以外の内容についても、おもしろいと感じた表現を引用し、そう感じた理由を書いていけばよい。

* 三文で書いていること。

問題について

「読むこと」社会について考えをもつ問題
(日本の農業について考える)

伝えたい内容や自分の考えについて、根拠を明確にして書くためには、複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすることが大切です。得た情報を既保持っている知識や経験、感情に統合したり、新しい問いや仮説を立てたりして、自分の考えを検証し、深めることも重要になります。
文章を読むときには、根拠の明確さや論理の展開の仕方、表現の仕方等について評価しながら読んでみましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

25

1 ア

2 エ

3 A (例)

日本の農業人口は減っているのに、農業人口に占める高齢者の割合は増えていること
(三十八字)

(例)

日本の農業は、農業人口の減少に伴って、高齢化が進んでいること
(三十字)

B (例)

技術開発によって、農作業の負担を軽減できるようになる可能性がある
(三十二字)

* 同様の内容が書けていればよい。

4 (1)

a
エ
b
カ
c
ウ
d
ア
e
イ

(2) (例)

日本の農業が抱えている高齢化や人手不足の問題が緩和される
(二十八字)

* 農業用のアシストスーツに着目して書けていればよい。



問題について

「読むこと」 叙述を根拠に自分の考えをもつ問題
（「吾輩は猫である」を読む）

文学的な文章を読むためには、言葉を手がかりにしながら文脈をたどることが大切です。文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進めていきましょう。その際、新しい言葉に出合ったときは、辞典を引くなどして意味を的確に捉えるようにしましょう。

幅広く文学作品に目を向け、新たなものの見方や考え方を発見したり、さまざまな視点から物事について考えられるようになっていくようにしましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

26

1 ア

2 A 「ふん」と感心して見せる。

（※A・Bは順不同。）

B 「うまくやったね」と喝采してやる。

3 (例1)

「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。

(例2)

「腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならない」と書かれていて、黒に敬意をもって接していることが分かります。相手の悪い面だけでなく、よい面にも目を向けることは大切なことだと思います。

(例3)

「元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって」と相手を見下すような接し方をしている。あまりよい気持ちがない。

※解答する際の三つのポイントを確認しよう！

【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用する

「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書く
「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書く

4 (例)

レビューに、「猫の視点から見た人間の姿を皮肉を交えながら、どこか滑稽に描いている」とありますが、この場面にも、それが感じられる表現があります。「しかし実際は、うちのものがというような勤勉家ではない。」や、「読みかけてある本の上によだれをたらしめている。」という表現からは、「吾輩」が「主人」のことを軽く見ていることが分かります。飼い主のことを尊敬していたら、こんなことは言わないはずです。「吾輩」が現代にいたら、私たちのことをどう感じるのかが気になります。

※具体的な叙述に基づいて自分の考えを書いていること。

「令和三年度 全国学力・学習状況調査問題と授業アイデア例」より作成

問題について

発展

「読むこと」 文学作品に親しむ問題

（「羅生門」を読む）

文学作品には、印象的で象徴的な書き出しの作品が多いと言われています。近代以降の文学作品の中から名作とよばれる「羅生門」を取りあげました。この「羅生門」も例にもれず、冒頭部分が印象的で象徴的な書き出しとなっていて、その後の展開に読者を見事に引き込んでいます。「今昔物語」に題材を得て書き上げた「羅生門」は、時代設定にも注目したり、物語に出てくる言葉も調べたりすることで、読解を助けます。また、物語を読んだ感じたことや調べたこと等について、話し合うことでさらに理解は深まります。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

27

1 ア B イ C

2 ウ 暮れ方 エ 雨やみ (順不同)

3 (例) 今後、どうやって生きていけばよいのかわからない (気持ち) (二十二字)

問題にひらく

「知識及び技能

(1) 語彙」

慣用句の用例を書く問題

(慣用句を調べる)

語彙を豊かにするためには、意味を理解している語句を増やすだけでなく、実際の場面で使用することができるようになることが大切です。着目したことわざや慣用句について、その意味を調べると共に、実際に使用する場面を想定しながら短文などを書くようにしましょう。その場合、主語と述語を照応させることに気をつけましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

28

1 おおみそか

2 (例)

十二月三十一日のそば屋は、猫の手も借りたいくらい忙しい。
(二十八字)

3 (例)

北見さんは、明日の文化祭でみんなと合唱できると思うと胸がおどった。

(三十三字)

* 主語と述語が照応していること。

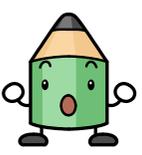
問題について

「知識及び技能 (3) 伝統的な言語文化」 古文を読み比べる問題
(兼好法師の友人観について考える)

古文を読み比べることによって、古典に表れた登場人物や作者のものの見方や考え方をより深く知ることができます。この問題のように同じ作品の別の段だけでなく、同じ時代に書かれた別の作品や、違う時代の同じジャンルの作品など、視点を決めて読むことで、古典の世界がより身近になるでしょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



29

1 むかいいたらん

2 a 同じ心ならん人

b ひとりあるここちやせん

3 (例) 年齢差が大きいのので考え方や行動が違う

* 同様の内容が書いていけばよい。

* 「付きあうのなら自分と価値観が同じで、遠慮なく付きあえる人がよい」という内容を踏まえて書いていること。

4 (例) (兼好法師は、)

自分と同じ価値観をもつ真実の心の友を求めている。しかし、そのような友は現実には存在しないので、そのような心の友を求めれば求めるほど、孤独感が深まっている。
(七十七字)

* 同様の内容が書いていけばよい。

* 理想の友人像と、実際のこととに触れて、孤独感について説明していること。

問題について

発展 「知識及び技能」

③「伝統的な言語文化」 古文に親しむ問題
④「徒然草」の作者の考えや古典用語からその時代を知る

古文を学習するうえで、その時代の文化やその時代に生きた人びとの考え方を知ることがとても重要です。作品の成立時代、作者について調べたり、古語について調べたりして、その作品がどのような時代にどのような考えの作者によって生み出されたのかを捉えることが大切です。そういった学習により、現代社会との共通点と相違点を理解することにつながり、より深く古文を身近なものとして味わえるようになると思われます。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

30

1 A 兼好法師

B 鎌倉（時代）

2 (例) 底が深いよりも浅い方が涼しく感じる（十七字）

3 (例) 天井が高いと暗くなってしまう（十四字）